



C7000

取扱説明書



改訂履歴

日時	バージョン	説明
2023 年 1 月 13 日	A	新マニュアル
2023 年 2 月 20 日	B	帝国単位削除
2023 年 7 月 6 日	C	FCC ページのアドレスを更新
2023 年 8 月 22 日	D	仕様のバッテリー持続時間を更新

目次

1.	はじめに.....	3
1.1.	安全上の予防措置.....	3
1.2.	使用目的.....	3
1.3.	パーツとコントロールの概要.....	4
1.4.	機能.....	4
2.	設置.....	6
2.1	梱包 リスト.....	6
2.2	スケールの開梱.....	6
2.3	設定.....	7
2.3.1	電源の接続.....	7
2.3.2	PC 接続.....	7
2.3.3	壁への直接取り付け.....	8
2.3.4	セカンドディスプレイの取り付け (オプションで利用可能).....	8
2.4	機器の水平調整.....	9
3.	操作.....	10
3.1	スケール電源の入/切.....	10
3.2	表示をゼロに設定.....	10
3.3	計量単位の変更.....	10
3.4	データの印字.....	10
3.5	アプリケーションモード.....	10
3.5.1	計量.....	10
3.5.2	累計.....	11
3.5.3	動物計量.....	12
3.5.4	重量アラート.....	14
4.	メニュー設定.....	15
4.1	メニューナビゲーション.....	15
4.1.1	ユーザーメニュー (セグメントごと).....	15
4.1.2	ボタンのナビゲーション.....	16
4.2	校正メニュー.....	16
4.2.1	初期校正.....	17
4.2.2	ゼロ校正 [ZER0].....	17
4.2.3	スパン校正 [SPAN].....	17
4.2.4	直線性校正 [LIN].....	18
4.2.5	GEO コードの調整 [GEO].....	18
4.2.6	校正テスト [TEST].....	19
4.2.7	校正完了[完了].....	19
4.3	設定メニュー.....	19
4.4	読み出しメニュー.....	20
4.5	単位メニュー.....	22
4.6	RS232 メニュー.....	22
4.7	印字メニュー.....	24
4.8	ロックボタンの設定.....	27
5.	法定計量設定.....	28
5.1	設定.....	28
5.2	検証.....	28
5.3	封印.....	29
6.	通信.....	30
6.1	デバイスポート接続に合わせて拡張.....	30
6.1.1	USB (タイプ C) ポート.....	30
6.1.2	RS232 ポート.....	31
6.1.3	その他のオプション (セカンド RS232 またはイーサネットまたは WiFi / Bluetooth またはセカンドディスプレイ).....	32
6.2	インターフェイス プロトコル.....	32
6.2.1	NCI プロトコル.....	32
6.2.2	8213 インターフェイス プロトコル.....	34
6.2.3	3835 プロトコル.....	36

6.2.4 NCI-SCP01 プロトコル	37
7. メンテナンス	39
7.1 クリーニング	39
7.2 トラブルシューティング	39
7.3 サービス情報	40
8. オプション品	40
9. 技術データ	42
9.1 仕様	42
9.2 図面と寸法	43
9.3 GEO コード値の表	44
10. コンプライアンス	45
11. 付録	47
11.1 付録 A	47
11.2 付録 B	49
11.3 付録 C	50
11.4 付録 D	51
11.5 付録 E	52
12. 保証範囲	53
12.1 保証登録 / 製品サポート登録	53
12.2 保証登録について	54

1. はじめに

この説明書には、C7000 のインストール、操作、およびメンテナンスの手順が含まれています。この取扱説明書は、このスケールを簡単に設置して使用するのに役立ちます。したがって、インストールおよび操作の前によくお読みください。

1.1. 安全上の予防措置

シグナル警告とシンボルの定義

安全上の注意事項には、注意喚起用語と警告記号が付けられています。これらは、安全上の問題と警告を示しています。安全上の注意事項を無視すると、人身事故、機器の損傷、誤動作、および誤った結果につながる可能性があります。

注意喚起用語

警告	危険度が中程度の危機状況で、回避しないと重傷または死亡に至る可能性があります。
注意	危険度が低い危機状況で、回避されない場合、デバイスまたは資産への損傷またはデータの損失、または軽度または中程度の怪我につながる場合。
留意	製品に関する重要な情報。回避しないと、機器の損傷につながる可能性があります。
備考	製品に関する有用な情報。

警告記号



一般的な危険



爆発の危険



感電の危険

安全上の予防措置



注意: この機器のインストール、接続、または修理を行う前に、すべての安全上の警告をお読みください。これらの警告に従わなかった場合、人身傷害および/または物的損害が発生する可能性があります。後で参照できるように、すべての指示を保管しておいてください。

- 電源を接続する前に、機器の入力電圧範囲とプラグ タイプが使用地域の交流主電源と互換性があることを確認してください。
- 電源接続に届きにくい場所に装置を配置しないでください。
- 電源コードが障害の可能性やつまずきの危険をもたらさないことを確認してください。
- これらの指示で指定された周囲条件下でのみ装置を操作してください。
- 本機は屋内専用です。
- 湿った場所、危険な状態、または不安定な環境で装置を操作しないでください。
- 装置に液体が入らないようにしてください。
- 定格容量を超えて機器に負荷をかけないでください。
- 測定台の上に荷物などを落とさないでください。
- 装置を逆さまにして測定台を底にしないでください。
- 承認された付属品と周辺機器のみを使用してください。
- 清掃の際は、装置を電源から切り離してください。
- サービスは、許可された担当者のみが実行する必要があります。



警告: 爆発の危険がある環境では絶対に作業しないでください！装置の筐体は気密ではありません。(火花の発生による爆発の危険、ガスの侵入による腐食)



警告: 筐体内には感電の危険があります。筐体は、許可された有資格者のみが開けることができます。ユニットを開く前に、ユニットへのすべての電源接続を取り外してください。

1.2. 使用目的

この機器は、薬局、学校、企業、および軽工業での使用を目的としています。この操作説明書に記載されているパラメータの測定にのみ使用してください。オーハウスからの書面による同意なしでの、技術仕様の制限を超えたその他のタイプの使用および操作は、使用目的に反すると見なされます。この機器は、現在の業界標準および認められている安全規制に準拠しています。ただし、使用中に危険が生じる可能性があります。これらの操作説明書に従って装置を使用しない場合、装置によって提供される意図された保護が損なわれる可能性があります。

1.3. パーツとコントロールの概要

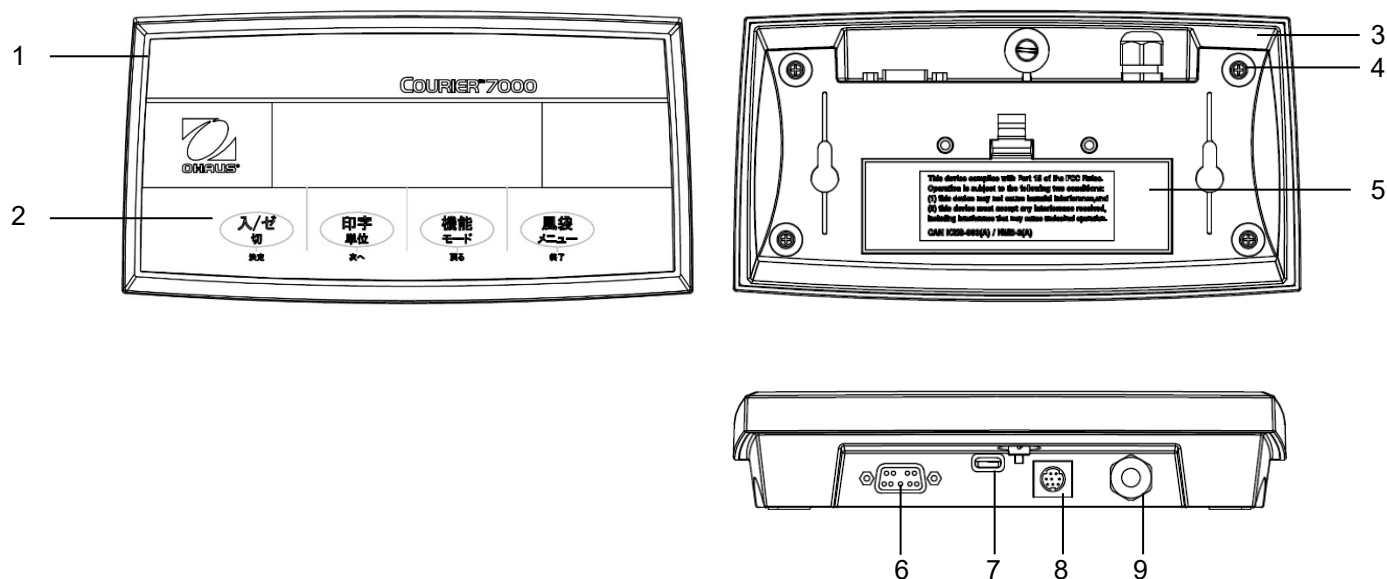


図 1-1 C7000

アイテム	説明	アイテム	説明
1	筐体前部	6	RS232 コネクター
2	コントロールパネル	7	USB タイプ-C コネクター
3	筐体後部	8	Mini DIN コネクター
4	ねじ (4)	9	ロードセル コネクター
5	バッテリーカバー		

1.4. 機能



図 1-2 C7000 コントロール パネル

ボタン	入/ゼロ 切 決定	印字 単位 次へ	機能 モード 戻る	風袋 メニュー 終了
主な機能 (短押し)	入/ゼロ スケールが切の場合、 短く押すとスケールが 入になります。 スケールが入の場合、 短く押すと表示値がゼロ に設定されます。	印字 インターフェイスが 有効な場合、現在の の表示値をインター フェイスポートに 送信できます。	機能 このキーは、さまざ まなアプリケーション モードで特定の機能 を開始します。	風袋 風袋重量引きを行いま す。
二次機能 (長押し)	切 スケールが入になっ ている場合は、長押し してスケールを切にし ます。	単位 計量単位を変更し ます。	モード アプリケーションモー ドを変更します。	メニュー ユーザーメニューに入 ります。
メニュー機能 (短押し)	決定 ディスプレイの現在の 設定を選択するか、サ ブメニューに入ります。	次へ 次のメニューまたは メニュー項目に 移動します。 ディスプレイ上の 現在の設定を拒否し、 次に使用可能な設定 に移動します。	戻る 前のメニュー項目に 戻ります。	終了 ユーザーメニューを終 了します。 進行中の校正を中止 します。

備考:

- 短押し: キーを 1 秒未満押します。
- 長押し: キーを 3 秒以上押し続けます。

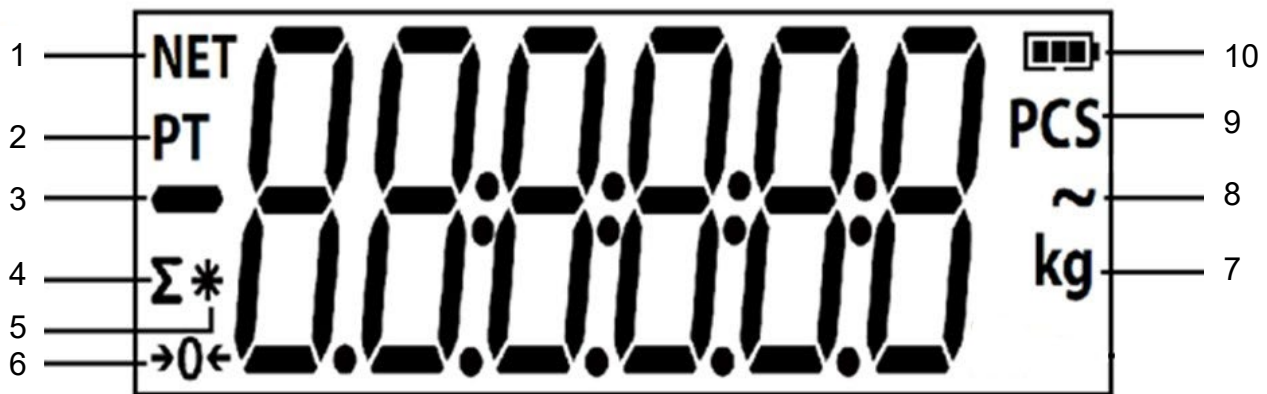


図 1-3 ディスプレイ

アイテム	説明	アイテム	説明
1	正味重量記号	6	ゼロ中心記号
2	プリセット風袋、風袋記号	7	キログラム、グラム記号
3	マイナス記号	8	動物計量モード記号
4	累計記号	9	個数記号
5	安定重量記号	10	バッテリー残量記号

2. 設置

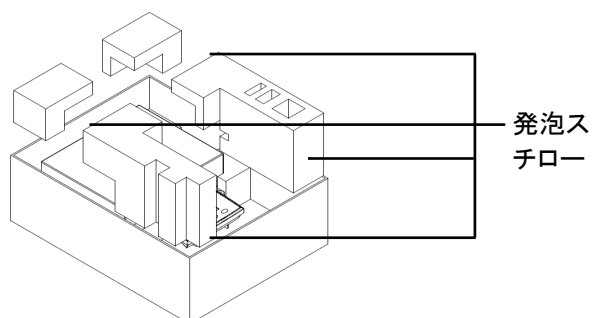
2.1 梱包 リスト

アイ テム	説明	写真	数量
1	C7000 スケール		1
2	USB ケーブル		1
3	AC アダプター		1

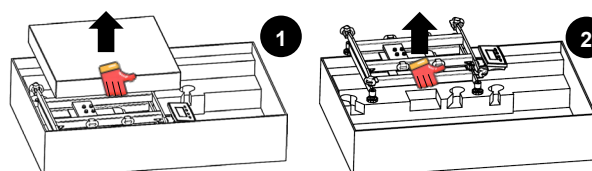
2.2 スケールの開梱

手順

- 書類、ケーブル、電源アダプターを取り出し、横に置きます。
- 発泡スチロールブロックを取り出します。



- C7000 スケールを箱から取り出し、安定した場所に置きます。
備考: i-C71M150X の場合、C7000 スケールを運ぶには、右の写真を参照してください。



- 計量皿と、スケール本体の上部フレームと下部フレームの間にある 4 つの赤い運搬用留め具を取り外します。



運搬用留め具

計量皿

2.3 設定

2.3.1 電源の接続

タイプ-C ケーブルと AC アダプターは、スケールに電力を供給することができます。

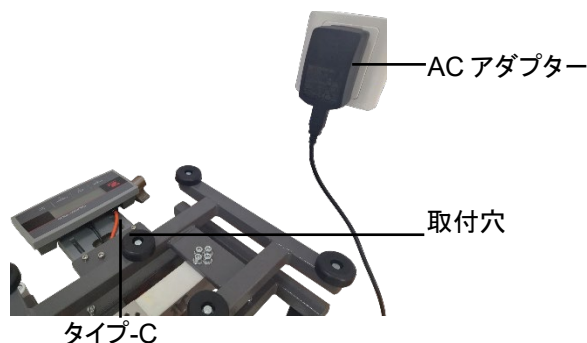
USB 電源

1. USB ケーブルのタイプ-A 側を使用して、PC に接続します。
2. USB ケーブルの反対側を使用して、ブラケットの取付穴を通してターミナルを接続します。



AC アダプタの電源

1. USB ケーブルのタイプ-A 側を使用して、AC アダプターに接続します。
2. USB ケーブルの反対側を使用して、ブラケットの取付穴を通してターミナルを接続します。
3. AC アダプターをコンセントに差し込みます。



バッテリー電力

単 3 バッテリー 4 本 (別売り) で、スケールに電源を供給することができます。

1. ターミナル取付金具のネジ 2 本を緩めてターミナルを取り外します。
2. バッテリーコンパートメントにバッテリーを取り付けます。



バッテリー残量記号は、バッテリーの状態を示します。



バッテリー残量 5%~25%



バッテリー残量 50%~75%



バッテリー残量 25%~50%



バッテリー残量 75%~100%

2.3.2 PC 接続

USB から PC へ

USB 接続を奨励します。USB ケーブルを PC に接続すると、PC との USB 通信が可能になります。

備考: PC 接続に使用する USB ケーブルは、スケール本体にも電力を供給できます。

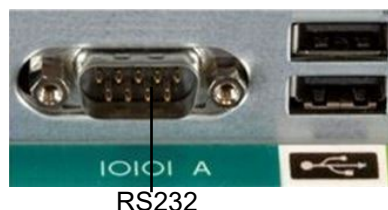
1. USB ケーブルのタイプ-A 側を使用して、PC に接続します。
2. USB ケーブルの反対側を使用して、ブラケットの取付穴を通してターミナルを接続します。



RS232 から PC へ

RS232 は接続の代替方法です。

1. ブラケットの取付穴を通して RS232 ケーブルを端末に接続します。
2. RS232 ケーブルの反対側を PC に接続します。(通常、COM 1、COM A、または IOIOI とラベル付けされています)。
3. 電源は USB ケーブルと AC アダプター、またはバッテリーを使用できます (2.3.1 電源の接続参照)。



RS232

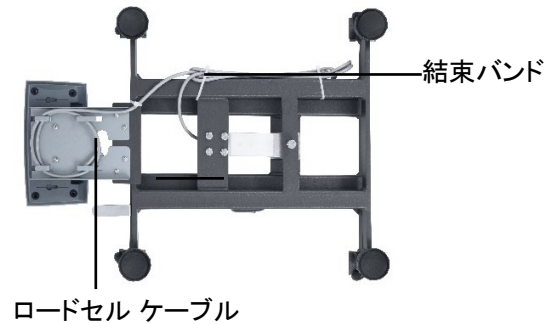
備考:

接続は、Mini DIN 接続を介したセカンド RS232、イーサネット、または WiFi/Bluetooth 接続のオプションを使用してもできます。各接続の詳細については、各オプションのマニュアルを参照してください。オプションがスケールに接続されると、メニューには接続を構成するためのオプションが表示されます。

2.3.3 壁への直接取り付け

端末は、2本のネジ (付属していません) を使用して壁に直接取り付けることができます。

1. スケールの下部にある結束バンドを外して、ロードセルケーブルを外します。



2. ターミナル取付金具のネジ 2 本を緩めてターミナルを取り外します。
3. ターミナルハウジングの底部にある穴に適合する適切なサイズのネジを選択します。図 A を参照してください。しっかりした裏当てなしで壁に取り付ける場合は、適切な固定金具を使用してください。

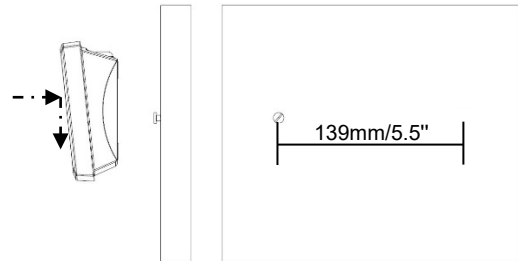


図 A. 壁への直接取り付け配置

2.3.4 セカンドディスプレイの取り付け (オプションで利用可能)

オーハウスは、壁や机に取り付けたり、オプションの支柱に取り付けたりできるリモートセカンドディスプレイをオプションとして提供しています。通常これは小売の際、顧客に重量結果を表示するために使用されます。リモートセカンドディスプレイは、Mini DIN 接続を使用し C7000 ターミナルに接続します。この接続をすると、他の接続オプション (セカンド RS232、イーサネットまたは WiFi/Bluetooth) は接続できなくなります。

壁掛けディスプレイ

セカンドディスプレイは、2本のネジ (付属していません) を使用して壁に直接取り付けることができます。

1. セカンドディスプレイのオスねじ側を使用して、ターミナル取り付けブラケットの穴を通してターミナルの Mini DIN を接続します。



2. 筐体の底部にある穴に適合する適切なサイズのネジを選択します。図 B を参照してください。しっかりとした裏打ちがない壁に取り付ける場合は、適切な固定金具を使用してください。

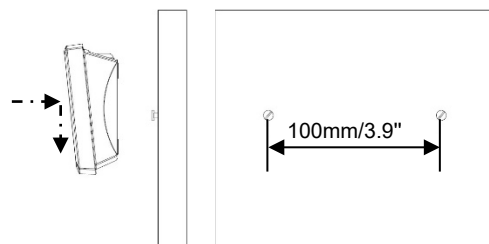


図 B. 壁への直接取り付け配置

支柱取付キットのディスプレイ

支柱取付キットにセカンドディスプレイを取り付けるには、次の手順に従ってください。

1. セカンドディスプレイのオスねじ側を使用して、支柱取付キットを介してターミナルの Mini DIN を接続します。



2. セカンドディスプレイを支柱取付キットに取り付けます。
3. ネジで台などの上面に支柱取付キットを取り付けます。

すべてのオプションは、C7000 スケールの Mini DIN コネクタを介して機能します。図 2-1 を参照してください。Mini DIN のピン配置の定義を見つけることができます。

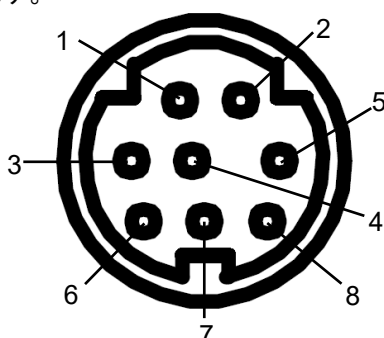


図 2-1 C7000 Mini DIN

アイ テム	機能(色)	アイ テム	機能(色)
1	GND	5	CTS
2	VCC	6	RTS
3	TXD	7	P_EN
4	RXD	8	オプション_DCT

2.4 機器の水平調整

精度、適切な性能、および安全性を確保するために、安定した水平な面に本体を配置して操作してください。急激な温度変化やほこり、気流、振動、磁界、高温は避けてください。

レベルインジケータの気泡が中央に来るまで、4 つの水平調整脚を調整して本体を水平にします。各水準調整脚の上のロックナットを緩めるには、レンチが必要になる場合があります。本体が水平になったら、ロックナットを本体に対して締めて、各脚を所定の位置にロックします。

備考:位置を変更するたびに、本体が水平であることを確認してください。



正常



異常

3. 操作

3.1 スケール電源の入/切

スケールの電源を入れるには、**入**ボタンを押します。スケールは表示テストを実行し、ソフトウェアバージョンとGEO値を一時的に表示してから、最後に使用した時の計量モードに入ります。

備考:ハードウェアロックスイッチが有効になっている場合、**LFE ON** もすぐに表示されます。

スケールをオフにするには、**OFF** が表示されるまで **切**ボタンを長押しします。

3.2 表示をゼロに設定

ディスプレイの値は、次の条件下でゼロに設定できます。

- 1. 電源を入れた時は自動(初期ゼロ)。
- 2. **入/ゼロ 切**ボタンを押すことにより、半自動(手動)。
- 3. **ゼロ**コマンド (Z または代替ゼロコマンド) を送信することにより、半自動的。

入/ゼロ 切ボタンを押して表示の値を設定する場合は、目盛が安定していることを確認してください。

3.3 計量単位の変更

計量単位を変更するには、目的の計量単位がディスプレイに表示されるまで、**印字単位**ボタンを長押しします。

3.4 データの印字

表示されたデータをプリンターで印字したり、コンピューターにデータを送信したりする前に、**印字メニュー**で通信パラメーターを設定してください。(4.7 印字メニュー参照)。

印字単位ボタンを押すと、表示されているデータを通信ポートに送信できます。

3.5 アプリケーションモード

アプリケーションモードの有効化/無効化

アプリケーションモードを有効または無効にするには、次の手順を実行します。

- 1. **FN.E.N.U** がディスプレイに表示されるまで、**メニュー** ボタンを長押しします。
- 2. **メニュー**ボタンを離すと、**C.N.L** がディスプレイに表示されます。
- 3. **FN.O.d.E** がディスプレイに表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
- 4. **決定**ボタンを押して、アプリケーションモードに入ります。
- 5. 必要な選択がディスプレイに表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
- 6. **決定**ボタンを押すと、ディスプレイに **ON** が表示されます。アプリケーションモードを有効にする場合は、**決定**ボタンを短く押します。アプリケーションモードを無効にする場合は、ディスプレイに **OFF** が表示されるまで**次へ**ボタンを短く押してから、**決定**ボタンを短く押します。

3.5.1 計量

このモードはデフォルトの工場設定であり、選択した計量単位で荷重の重量を決定するために使用されます。

モードに入り計量を開始

計量モードに入るには、次の手順を実行します。

- 1. ディスプレイに **LJE IGM** が表示されるまで、**機能モード** ボタンを長押しします。
- 2. 容器をスケールに乗せます。値が安定すると、ディスプレイに「*」が表示されます。
- 3. **風袋**ボタンを押します。スケールが正常に機能している場合、ディスプレイ上の値が0であることを確認できます。
- 4. 容器に計量物を入れ、ディスプレイから計量物の重量を読み取ります。値が安定すると、ディスプレイに「*」が表示されます。

備考:風袋ボタンを長押しすると、風袋重量を確認できます。

計量設定は以下に定義されています (太字はデフォルト)。

アイテム	利用可能な設定	コメント
計量 (LJE IGM)	入 、切	計量を有効または無効にするには

備考:計量モード中は、計量モードを無効にすることはできません。

3.5.2 累計

このアプリケーションは、複数の重量を手動または自動で累計するために使用されます。統計データ(サンプル数、合計重量、平均重量、最小重量、最大重量、重量差)をメモリーに保存し、確認と印字を行います。

アプリケーションの設定

3つの累計オプションがあります。

切 (OFF): 累計機能を無効にします。

手動 (MAN): 機能ボタンにより手動で累計機能を有効にします。

自動 (AUTO): スケールは、累計機能を自動的に実行します。

備考: 手動のオプションがデフォルト設定です。

累計オプションの設定:

1. **OFF** がディスプレイに表示されるまで、**メニュー**ボタンを長押しします。
2. **メニュー**ボタンを離すと、**CAL** がディスプレイに表示されます。
3. ディスプレイに **MODE** が表示されるまで**次へ**ボタンを数回短く押してから、**決定**ボタンを押します。問題なければ、ディスプレイに **RESET** が表示されます。
4. ディスプレイに **ENTER** が表示されるまで**次へ**ボタンを数回短く押してから、**決定**ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. **次へ**ボタンを数回短く押して、必要な累計オプションを選択します。必要なオプションがディスプレイに表示されたら、**決定**ボタンを押して確定します。
6. **終了**ボタンを押して終了します。

モードに入る手順

1. ディスプレイに **ENTER** が表示されるまで、**モード**ボタンを長押しします。
 2. **モード**ボタンを離すと、**CLR.ACC** がディスプレイに表示されます。
 - 前回の保存された累計結果を削除する必要がある場合は、**決定**ボタンを押すと、スケールが累計機能を実行します。
 - 前回保存した累計結果を再利用する場合は、**次へ**ボタンを押すと前回の累計を継続できます。
- 備考: スケールに容器が乗っている場合、容器が取り除かれるか**風袋**ボタンを押して風袋引きするまで、ディスプレイには **CLR.PAN** が表示されます。

累計方法

手動: オペレーターは**機能**ボタンで累計を開始します。

自動: スケールは、累計機能を自動的に実行します。

スケールが適切に累計を実行すると、 Σ が点滅していることがわかります。計量物が取り除かれ、計量皿が安定するまで点滅し続けます。

備考:

- 次の計量物を計量する前に、前の計量物をスケールから取り除く必要があります。
- スケールは表示の安定した値のみを保存します。
- NTEPモデルで商取引合法モードが入の場合、総重量と正味重量を同じ合計に加算することはできません。最初の重量が総重量で記録されている場合は、次の重量も同じ方法で記録する必要があります。正味重量も同様です。

累計結果の確認

スケールが空のときは、**機能**ボタンを押して結果を確認できます。

結果には、サンプル数、総重量、平均重量、最小重量、最大重量、および重量差 (最大重量から最小重量を差し引いたもの) が含まれます。各値は1秒間表示されます。

累計ルール

以下の場合、累計はうまくいきません。

1. 重量値が不安定なとき。
2. 計量物の正味重量が 5d 未満のとき。
3. 全体の合計重量が 999999 を超えているとき。(単位は設定によって異なります。)
4. 累計集計回数が 9999 回を超えているとき。

累計結果の印字とフォーマット

- 以下の手順を参照してください。メニューでテーブルオプション (TABLE) を有効にすることができます。
 - MENU が表示されるまでメニューボタンを長押しします。
 - メニューボタンを放すと、CAL が表示されます。
 - MODE がディスプレイに表示されるまで、次へボタンを数回短く押します。
 - 決定ボタンを押してサブメニューに入ります
 - ディスプレイに TABLE が表示されるまで 次へボタンを数回短く押してから、決定ボタンを押してテーブル設定オプションに入ります。
 - 画面上で入になるまで、次へボタンを短く押します。
 - 決定ボタンを押して確定します。そしてディスプレイに END が表示されます。
 - 終了ボタンを押して終了します。
- テーブル オプションが有効になります。
 - 自動累計モードでは、合計が正常に実行されると、スケールは現在の重量を自動的に累計します。
 - 手動累計モードでは、機能ボタンを押して現在の重量を累計し、それに応じて印字することができます。

現在の重量のアウトプットは、以下の例のように表示されます。

例:

1.	1000 g N
2.	2000 g N
3.	3000 g N
4.	1999 g N
5.	1000 g N

累計が終了したら、以下の 2 つの手順で累計結果を印字できます。

- スケールから計量物を取り除きます。
- 機能ボタンを押すと、累計結果が表示されます。
- 印字ボタンを押して結果を印字します。

以下の例を参照してください。累計結果のアウトプットが表示されます。

例:

n:	5
合計:	100.000 g
平均:	200.000 g
最小:	10.500 g
最大:	88.200 g
重量差:	78.300 g

備考: スケールは 32 文字をサポートし、最初の行は「-」です。コロンは左揃えで、重量/数値は右揃えです。

3.5.3 動物計量

このアプリケーションは、移動する動物などの不安定な負荷を計量するために使用されます。3 つの異なるスタート/リセット操作タイプを選択できます。

- | | |
|------------|---|
| 切 (OFF) | = モードを無効にします。 |
| 手動 (MAN) | = 機能キーを押すと、平均化とリセットが手動で開始されます。 |
| 半自動 (SEMI) | = 負荷重量が開始重量よりも大きい場合、平均化が自動的に開始されます。機能キーを押すとリセットが開始されます。 |
| 自動 (AUTO) | = 負荷重量が開始重量よりも大きい場合、平均化が自動的に開始されます。ディスプレイ上の重量が 5d 未満になると、リセットが自動的に開始されます。 |

動物計量モードへの入りかた

動物計量モードに入るには、次の手順を実行します。

- MAN がディスプレイに表示されるまで、機能モードボタンを長押しします。
- ボタンの機能モードを放すと、ディスプレイに READY が表示されます。

動物計量の開始

1. スケールに計量物をのせます。
 - 操作タイプが手動の場合、機能ボタンを押して平均化プロセスを開始する必要があります。
 - 操作タイプが半自動/自動の場合、積載重量が開始重量よりも大きい場合、スケールは自動的に平均化処理を実行します。
- 備考:
 - 次のパスで開始重量の値を設定できます: $\text{F7.E.N.U} > \text{F70dE} > \text{dYnARr} > \text{d.StArE}$ 。また、開始重量値の正しい範囲は 0 - 容量値です。
 - 平均化期間中、カウントダウンタイマーは 1 秒単位で減少します。設定した平均時間が 0 秒の場合、カウントダウンタイマーは表示されません。
 - カウントダウンが完了すると、ディスプレイ上の値が平均化され、ディスプレイ上に保持されます。
2. チルダ (動的) 記号がディスプレイ上で点滅している場合は、ディスプレイ上の値を読み取ります。
3. カウントダウンタイマーをリセットします。
 - 操作タイプが手動/半自動の場合、カウントダウンの実行中に機能ボタンを押してカウントダウンタイマーをリセットできます。ディスプレイに **rEAdy** が表示され、再カウントが開始されます。
 - 操作タイプが自動の場合、スケールから計量物を取り除くことができます。また、継続時間が終了するまで平均重量が表示されます。その後、ディスプレイに **rEAdy** が表示され、再カウントが開始されます。
- 備考:
 - カウントダウンタイマーをリセットするには、**rEAdy** ディスプレイが総量または正味量をゼロにする必要があります。

アプリケーションの設定

動物計量設定は以下に定義されています (太字はデフォルト)。

アイテム	利用可能な設定	コメント
動物モード (dYnARr)	切 (OFF) / 入 (ON)	カウントダウン: カウントダウンタイムがあります。
動物操作タイプ (d.tYPE)	手動 (F7AR) / 半自動 (SEr r) / 自動 (AutO)	手動: 平均化プロセスが開始され、手動でリセットされます。 半自動: 平均化プロセスは自動的に開始され、手動でリセットされます。 自動: 平均化プロセスが開始され、自動的にリセットされます。
開始重量 (d.StArE)	5d ~ 容量重量	動物計量は、計量物が開始重量よりも大きい場合に開始されます (半自動および自動モードの場合)。
継続時間 (d.t r7E)	1 ~ 10 秒	計量物を取り除いた後、表示が動物計量結果の状態ままである時間です。
平均時間 (A.t r7E)	0 ~ 30 秒	秒単位での時間です。 平均時間が 0 の場合、最初の安定した重量 (5d 以上) が結果になります。

備考:

- ディスプレイホールド: 時間を 0 に設定すると、5d を超える最初の安定重量が表示されます。平均化時間は、0 ~ 60 の値に設定できます。
- 可動物モードにいる場合、その設定を無効にすることはできません。

3.5.4 重量アラート

このアプリケーションは、アイテムの重量が目標制限内にあるかどうかを判断するために使用されます。設定には 2 つの制限値があり、制限 1 はデフォルトで通常開いています。

制限値の設定

1. **ALERT** がディスプレイに表示されるまで機能ボタンを長押しします。
2. 機能ボタンを離すと、**CLR.ALE** がディスプレイに表示されます。
3. 決定ボタンを押すと、保存されたアラート制限値が削除され、**L 177.1** がディスプレイに表示されます。
4. 決定ボタンを押すと、現在の単位で **000000** がディスプレイ上で点滅します。
5. 制限値 1 を設定するには、次の手順を実行します。
 - a) 次へおよび戻るボタンを使用して、最初の桁の数字を設定します。
 - b) 決定ボタンを短く押して数値を確定し、次の桁に移動します。
 - c) a) と b) の手順を繰り返して、すべての桁の数値を設定します。
 - d) 決定ボタンを押して値を確定します。値が正しい範囲にない場合、ディスプレイに **NO** が表示されます。値を設定するには、手順 3、4、および 5 を繰り返す必要があります。値が正しい範囲内にある場合、**L 177.2** がディスプレイに表示されます。
備考: **L 177.2** がオフに設定されている場合、**L 177.2** はディスプレイに表示されず、スケールはそのまま計量状態にはいります。
6. 手順 4 と 5 を繰り返して、制限値 2 を設定します。値が正しい範囲にない場合、ディスプレイに **NO** が表示されます。値が正しい範囲内にある場合、スケールは計量状態になります。

備考:

1. 機能キーを短く押すと、制限値を確認できます。
2. 制限値のいずれかまたは両方を設定できます。荷重の重量値がいずれかの制限値より大きい場合、セグメントテキストとバックライトが同時に点滅します。この時、追加の負荷は受け入れられません。

荷重の重量値が両方の制限値より大きい場合、セグメントテキストが点滅します。この時、追加の負荷は受け入れられません。

上限値は容量値以下です。

4. メニュー設定

ユーザーメニューを使用すると、ユーザーはスケール設定をカスタマイズできます。

備考: オプションのサブメニュー (下の表のUSB、イーサネット、およびワイヤレス) は、特定のボードがインストールされている場合にアクティブになります。アクセサリのマニュアルを参照してください。追加の設定情報を見つけることができます。

4.1 メニューナビゲーション

4.1.1 ユーザーメニュー (セグメントごと)

CAL	SEtUP	REAd	MODE	UNIT	RS232	Pr. Unit	25.Er. 1A	Pr. Unit2
ZERO	RESET	RESET	RESET	RESET	RESET	RESET	RESET	RESET
SPAN	Unit	SCALE	WIDE	9	band	ASSIGN	band	ASSIGN
LIN	CAP	ZERO	dynARM	19	PARITY	dEPMAN	PARITY	dEPMAN
GEO	GrAd	FILTEr	dTYPE	END	STOP	ON.StAb	STOP	ON.StAb
CtESt	P.ZERO	A2t	d.StArE		H.SHARE	ON.ACCEP	H.SHARE	ON.ACCEP
END	P.UNIt	b.LIGHt	d.tINTE		ALt.P	INtEr	ALt.P	INtEr
	A.tArE	SCrEEN	A.tINTE		ALt.t	INtE.Con	ALt.t	INtE.Con
	END	A.OFF	tOAL		ALt.2	OM.Con	ALt.2	OM.Con
	P.SAVEr	ABLE	ALtE		END	SICS	END	SICS
	END	END	END			NC1		NC1
						8213		8213
						3835		3835
						SCPD1		SCPD1
						StAbLE		StAbLE
						CONtNt		CONtNt
						LAYOUT		LAYOUT
						END		END
U.S.b	Pr. Unit.U	E.t.H.N.E.t	Pr. Unit.E	b.d. l.-b.t	Pr. Unit.H	L.o.c.t	END	
RESET	RESET	RESET	RESET	RESET	RESET	RESET		
tYPE	ASSIGN	IP.Addr	ASSIGN	tYPE	ASSIGN	L.ALL		
Mid	dEPMAN	u.E.r.	dEPMAN	IP.Addr	dEPMAN	L.OFF		
CdC	ON.StAb	ALt.P	ON.StAb	d.NARME	ON.StAb	L.ZERO		
ALt.P	ON.ACCEP	ALt.t	ON.ACCEP	P.COdE	ON.ACCEP	L.Pr int		
ALt.t	INtEr	ALt.2	INtEr	ALt.P	INtEr	L.UnIt		
ALt.2	INtE.Con	END	INtE.Con	ALt.t	INtE.Con	L.MODE		
END	OM.Con		OM.Con	ALt.2	OM.Con	L.MENU		
	SICS		SICS	END	SICS	L.tArE		
	NC1		NC1		NC1	END		
	8213		8213		8213			
	3835		3835		3835			
	SCPD1		SCPD1		SCPD1			
	StAbLE		StAbLE		StAbLE			
	CONtNt		CONtNt		CONtNt			
	LAYOUT		LAYOUT		LAYOUT			
	END		END		END			

備考:

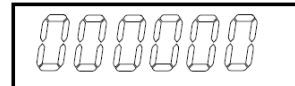
- 次のメニューは、対応するアクセサリがインストールされるまで表示されません。
 - 25.Er. 1A と Pr. Unit2 は、オプション RS232 がインストールされるまで表示されません。
 - スケールを USB タイプ-C で PC に接続すると、U.S.b が表示されます。また、Mid あるいは CdC タイプを選択できます。
 - CdC タイプを選択すると、Pr. Unit.U が表示されます。
 - イーサネットボードがインストールされている場合、E.t.H.N.E.t と Pr. Unit.E が表示されます。
 - USB ホストがインストールされている場合 b.d. l.-b.t と Pr. Unit.H が表示されます。

2. モデルによっては、一部のモード/ユニットを使用できない場合があります。
 法廷計量設定(日本では使用しません)が入になっている場合 (セキュリティ スイッチ S1 がロック位置にある場合) メニュー設定は次のように影響を受けます:
- 校正機能が無効になります。
 - ゼロ範囲設定は 2% でロックされます。
 - 安定範囲設定は 1d でロックされます。
 - オートゼロトラッキング設定は 0.5d でロックされます。
 - フィルターと単位は現行の設定でロックされます。
 - 安定オンリー設定は入でロックされます。
 - 電力モードは無効になります。
- 備考:**セキュリティ スイッチ S1 の位置については 5.1 設定 を参照してください。

4.1.2 ボタンのナビゲーション

スケール容量など数値設定が必要なメニュー項目は、現在の数値を全桁点滅表示します。変更手順:

1. **次へ**ボタンを押して編集を開始します。



2. 1桁目が点滅表示されます。



3. **次へ**ボタンを押して数字を増やすか、**決定**ボタンを押して数字を受け入れて次の数字に移動します。
備考:戻るボタンを押すと、桁を減らすことができます。



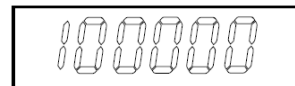
4. すべての桁に対してこのプロセスを繰り返します。



5. 最後の桁を設定完了したら、**決定**ボタンを押します。



6. 新しい設定が表示され、すべての桁が点滅します。**決定**ボタンを押して設定を受け入れるか、**次へ**ボタンを押して編集を再開します。



7. 現在のメニュー選択を終了するには、**決定**ボタンを押して次のメニューに進むか**次へ**ボタンを押して現在のメニューの先頭に戻ります。

4.2 校正メニュー

校正メニュー **[CAL]** を選択すると、スケールは校正を実行できます。

校正単位の変更

校正単位を変更する場合は、次の手順で実行できます。

1. **UNIT** がディスプレイに表示されるまで、**メニュー** ボタンを長押しします。
2. **メニュー** ボタンを離すと、**[CAL]** がディスプレイに表示されます。
3. **次へ**ボタンを短く押すと、**Set uP** がディスプレイに表示されます。
4. **決定**ボタンを押して、サブメニューに入ります。
5. **次へ**ボタンを短く押すと、**Unit** がディスプレイに表示されます。
6. **決定**ボタンを短く押すと、**kg** がディスプレイに点滅します。単位を変更したい場合は、**次へ**ボタンを短く押してください。
7. **決定**ボタンを短く押して確定します。

4.2.1 初期校正

スケールを初めて操作するときは、正確な計量結果を得るために、ゼロとスパンの校正をお勧めします。

校正を実行する前に、表4-1に記載されている適切な校正分銅を用意してください。LFTスイッチ/校正ロックがロック解除位置に設定されていることを確認します。

場所に応じてGEO設定を調整することもできます。詳細なGEO情報については、以下の**GEOコード調整**セクションを確認してください。

表 4-1 推奨スパン校正分銅(別売)

最大容量 (kg)	質量* (kg)
15kg	15kg
60kg	60kg
150kg	150kg

備考:校正単位は容量単位と一致しています。

4.2.2 ゼロ校正 [ZERO]

スケールは、1つの校正ポイントでゼロ校正を実行します。ゼロ校正ポイントは、スケールに重さがかかっていない状態で確立されます。この校正方法を使用して、スパンまたは直線性の校正に影響を与えることなく、異なる静的負荷を調整できます。

校正手順:

1. **OFF** が表示されるまでメニューボタンを長押しします。
2. ボタンを離し、ディスプレイに **CAL** が表示されるまで待ちます。**決定**ボタンを押します。
3. ディスプレイに **ZERO** が表示されます。**決定**ボタンを押します。
4. **0** kg と校正単位がディスプレイ上で点滅します。計量皿に重りを載せずに、**決定**ボタンを押してゼロ点を設定します。
5. ディスプレイには **--C--** が表示され、ゼロ校正が終了すると **done** が表示されます。

備考:ゼロ校正に失敗した場合、または40秒経っても校正が成功しない場合は、**CAL E** が3秒間表示され、以前の校正データが復元されます。

6. その後、ディスプレイに **SPAN** が表示されます。**終了**ボタンを押して終了します。

4.2.3 スパン校正 [SPAN]

スケールは、1つの校正ポイントでスパン校正を実行します。これは、スケールに配置された校正分銅で確立されます。

備考:スパン校正は、ゼロ校正後に行ってください。

校正手順:

1. **OFF** が表示されるまでメニューボタンを長押しします。
2. ボタンを離し、ディスプレイに **CAL** が表示されるまで待ちます。**決定**ボタンを押します。
3. **次へ**ボタンを短く押して、**SPAN** が表示されるまで誘導します。**決定**ボタンを押します。
4. メニューで設定されたスケール秤量と単位に基づいて、校正ポイントと単位がディスプレイ上で点滅します。(例: **030.000** kg) 校正ポイントを変更する必要がある場合は、手順6に進みます。
5. 校正ポイントを変更するには、次の手順を実行します。
 - a) 希望の数値が表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
備考:戻るボタンを押すと、桁を減らすことができます。
 - b) **決定**ボタンを短く押して番号を受け入れ、次の桁に進みます。
 - c) すべての桁が正しくなるまで、このプロセスを繰り返します。
 - d) **決定**ボタンを押して、校正ポイントを受け入れます。ディスプレイ上で点滅しています。
6. 指定された重量の校正分銅を計量皿に載せ、**決定**ボタンを押します。
7. ディスプレイには **--C--** が表示され、校正が終了すると **done** が表示されます。
8. その後、ディスプレイに **LI** が表示されます。**終了**ボタンを押して終了します。

備考:

- スケールが校正を正常に実行しない場合、**CAL E** が 3 秒間表示され、以前の校正データが復元されます。
- 40 秒待ってもスケールが校正を実行できない場合は、**CAL E** が 3 秒間表示され、以前の校正データが復元されます。

4.2.4 直線性校正 [LIN]

スケールは 3 つの校正ポイントで直線性校正を実行します。完全な校正ポイントは、おもりを皿に載せて確立されます。中間校正ポイントは、計量皿の全校正重量の半分に等しい重量で確立されます。計量皿に分銅を載せない状態で、ゼロ校正ポイントが確立されます。フル校正ポイントと中間校正ポイントは、校正手順中にユーザーが変更できます。

校正手順:

1. **MENU** が表示されるまでメニューボタンを長押しします。
2. ボタンを離し、ディスプレイに **CAL** が表示されるまで待ちます。**決定**ボタンを押します。
3. **次へ**ボタンを数回短く押して、**LIN** が表示されるまで誘導します。**決定**ボタンを押します。
4. **0** kg と校正単位がディスプレイ上で点滅します。計量皿に重りを載せずに、**決定**ボタンを押してゼロ点を設定します。ディスプレイには **--C--** が表示されます。
5. 次に、設定メニューで設定したスケール容量と単位に基づいて、最初の校正ポイントと単位がディスプレイ上で点滅します。(例: **0 15.000** kg)。校正ポイントを変更する必要がある場合は、手順 7 に進みます。
6. 校正ポイントを変更するには、次の手順を実行します。
 - a) 希望の数値が表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
備考: 戻るボタンを押すと、桁を減らすことができます。
 - b) **決定**ボタンを短く押して番号を受け入れ、次の桁に進みます。
 - c) すべての桁が正しくなるまで、このプロセスを繰り返します。
 - d) **決定**ボタンを押して、校正ポイントを受け入れます。ディスプレイ上で点滅しています。
7. 指定された重量の校正分銅を計量皿に載せ、**決定**ボタンを押します。ディスプレイは **--C--** を表示します。
8. セットアップメニューで設定した容量と単位に基づいて、2 番目の校正ポイントと単位がディスプレイ上で点滅します。(例: **030.000** kg)
備考: 40 秒待ってもスケールが校正を実行できない場合は、**CAL E** が 3 秒間表示され、以前の校正データが復元されます。
9. 手順 6 と 7 を繰り返します。
10. ディスプレイには **--C--** が表示され、直線性校正が終了すると **done** が表示されます。
11. その後、ディスプレイに **GEO** が表示されます。**終了**ボタンを押して終了します。

4.2.5 GEO コードの調整 [GEO]

地理的調整係数 (GEO) コードは、現在の場所に基づいて校正を調整するために使用されます。0 から 31 までの設定が可能で、デフォルトは 12 です。

以下を参照して **9.3 GEO コード値の表** 端末の位置に対応する GEO 係数を決定してください。

GEO 係数を設定するには、次の手順で実行できます。

1. **MENU** が表示されるまでメニューボタンを長押しします。
2. ボタンを離し、ディスプレイに **CAL** が表示されるまで待ちます。**決定**ボタンを押します。
3. **次へ**ボタンを数回短く押して、**GEO** が表示されるまで誘導します。**決定**ボタンを押します。
4. GEO ポイントがディスプレイ上で点滅します (例: **12**)。
5. 目的の GEO 数値が表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。**決定**ボタンを押して承認します。
備考: 戻るボタンを押すと、桁を減らすことができます。
6. 次に、ディスプレイに **CHECK** が表示されます。**終了**ボタンを押して終了します。

4.2.6 校正テスト[**C.ESt**]

校正テスト手順:

1. **OFF.O.N** が表示されるまでメニューボタンを長押しします。
2. ボタンを離し、ディスプレイに **C.R.L** が表示されるまで待ちます。**決定**ボタンを押します。
3. **次へ**ボタンを数回短く押して、**C.ESt** が表示されるまで誘導します。**決定**ボタンを押します。
4. 設定メニューで設定した容量と単位に基づいて、ディスプレイ上で0と校正単位が点滅します。計量皿に重りを載せず、**決定**ボタンを押してゼロ点を設定します。
5. ゼロ点記録中は、ディスプレイに **--C--** と表示されます。
6. ディスプレイには前回の校正分銅と単位が点滅しています。(例: **0 15.000 kg**)。
6. テスト校正分銅を変更するには、以下の手順で実行できます。
 - a) 希望の数値が表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
備考: 戻るボタンを押すと、桁を減らすことができます。
 - b) **決定**ボタンを短く押して番号を受け入れ、次の桁に進みます。
 - c) すべての桁が正しくなるまで、このプロセスを繰り返します。
 - d) **決定**ボタンを押して、校正ポイントを受け入れます。ディスプレイ上で点滅しています。
7. 指定されたテスト分銅を計量皿にのせ、**決定**ボタンを押します。
8. 校正データとテスト分銅の差がディスプレイ上で点滅します。(例: **0.0 10 kg**)。端末がプリンターまたは他のデバイスに接続されている場合結果は印字されます。
備考: 印字結果は次のように表示されます。

例:

```

----- 校正テスト -----
新校正:15.000kg
旧校正:15.000kg
差分校正:0.0000kg
重量ID:_____
----- 完了 -----

```

9. 5秒後、テストは終了し、スケールはアクティブな計量モードに戻り、現在の重量が表示されます。

4.2.7 校正完了[完了]

画面に**End**が表示されたら、**決定**ボタンを押してこのメニューを終了し、次のサブメニューに入るか、**次へ**ボタンを押してこのサブメニューの最初のメニュー項目に入ることができます。

4.3 設定メニュー

以下の設定メニューでスケールパラメーターを設定できます。**S.E.t.u.P** デフォルト設定は太字です。

メニュー	サブメニュー	サブメニュー(セグメントごと)	オプション	オプション(セグメントごと)
設定 S.E.t.u.P	リセット	rESEt	次へ、決定	NO, YES
	容量単位	C.U.N It	kg	/
	容量	CRP	1-99999.9	/
	目盛り	GrAd	0.0001~100	/
	電源オン時ゼロ設定	P.ZErO	切、入	OFF, ON
	電源オン時単位設定	P.U.N It	自動, g, kg	AUTO
	自動風袋引き	A.tArE	切、入	OFF, ON
	完了	End	/	/

備考: / は、上記の表に該当しないことを示します。

リセット [**rESEt**]

セットアップメニューを工場出荷時のデフォルトにリセットします。

NO = リセットしない

YES = リセット

容量単位 [C.UNt]

校正に使用する単位を選択します。

kg

容量[CAP]

スケールの秤量またはスケールの最初の秤量を設定します。

1-999999

目盛り [GrAd]

目盛りの可読性または目盛りの最初の可読性を設定します。

0.0001~100

電源オン時ゼロ設定 [P.ZEr0]

電源を入れた時にスケールをゼロ設定します。

OFF = 無効。

ON = 有効。

電源オン時単位設定 [P.UNt]

電源を入れた時に表示する単位を設定します。

AUTO = 最後に電源を切った時に使用された単位

kg = キログラム

g = グラム

自動風袋引き [A.tArE]

自動風袋引き機能を設定します。

OFF = 自動風袋引き機能が無効。

ON = 最初の安定した総重量が風袋引きされます。ターミナルが総重量ゼロに戻ると、風袋引き数値はクリアされます。

4.4 読み出しメニュー

読み出しメニューでユーザー設定を設定できます。デフォルト設定は太字。

メニュー	サブメニュー	サブメニュー(セグメントごと)	オプション	オプション(セグメントごと)
読み出し (r.E.R.d)	リセット	rESEt	次へ、決定	NO, YES
	安定	StAbLE	0.5d, 1d , 2d, 5d	0.5d, 1d , 2d, 5d
	ゼロレンジ	ZErd	2%, 100%	2 , 100
	フィルターレベル	FILtEr	低、中、高	LOW, MEd , HIGH
	オートゼロトラック	ARt	切, 0.5d , 1d, 3d	OFF, 0.5d , 1d, 3d
	バックライト	b.LIGHt	切、入、自動	OFF, ON, AUTO
	スクリーンセーバー	ScREEN	切, 1分 、2分、5分	OFF, 1 , 2, 5
	自動切	A.OFF	切, 1分、5分、10分	OFF, 1 , 5, 10
	PWM.SAVE	P.SAVEr	入, 切	ON , OFF
	完了	END	/	/

備考:/ は、上記の表に該当しないことを示します。

リセット [RESET]

読み出しメニューを工場出荷時のデフォルトにリセットします。

NO = セットしない。

YES = リセット

安定性 [StABLE]

安定記号が消える前に変化できる読み取り値を設定します。

0.5d = 0.5 目盛り

1d = 1 目盛り

2d = 2 目盛り

5d = 5 目盛り

ゼロ [ZERO]

ゼロにできるスケール容量のパーセンテージを設定します。

2% = ゼロ範囲は +/-2% 以内

100% = ゼロ範囲は +/-100% 以内

フィルター [Filter]

信号フィルタリングの量を設定します。

LOW = 安定性が低く、安定度が低くなります。

NOM = 通常の安定性で通常の安定化時間。

HIGH = 安定性が高く、安定度が高くなります。

AZT [AZT]

自動ゼロトラッキング機能を設定します。

OFF = 無効

0.5d = 表示は1秒あたり0.5分割の変化を超えるまでゼロを維持します。

1d = 表示は1秒あたり1分割の変化を超えるまでゼロを維持します。

3d = 表示は1秒あたり3分割の変化を超えるまでゼロを維持します。

バックライト [b.LIGHT]

ディスプレイのバックライト機能を設定します。

OFF = バックライトは無効。

ON = バックライトは有効。常にオン。

AUTO = バックライトは、20秒間何も操作しないと無効化。

スクリーンセーバー [SCREEN]

選択した時間が経過したらスクリーンセーバーを有効にするかどうかを設定します。

OFF = スクリーンセーバーは無効

1 = 1分間何も操作しないと、スクリーンセーバーが有効。

2 = 2分間何も操作しないと、スクリーンセーバーが有効。

5 = 5分間何も操作しないと、スクリーンセーバーが有効。

自動切 [A.OFF]

選択した時間が経過したらディスプレイがスリープモードになるかどうかを設定します。

OFF = 無効

1 = 1分間何も操作しないと、ディスプレイのスリープモードが有効。

5 = 5分間何も操作しないと、ディスプレイのスリープモードが有効。

10 = 10分間何も操作しないと、ディスプレイのスリープモードが有効。

PWM.SAVE [P.SAVEr]

スケールがスタンバイモードになった後、省電力モードを有効にするかどうかを設定します。有効にすると、計量皿の重量を変更したり、ターミナルのボタンを押したりすると、ターミナルの計量機能が戻るまでに約 3 秒かかります。

ON = 省電力が有効。

OFF = 省電力が無効。

読み出し完了 [END]

次のメニューに進むか、現在のメニューの先頭に戻ります。

4.5 単位メニュー

目的のユニットを **U.N. 1.1** メニューでアクティブ化できます。

リセット

グラム (g)

キログラム (kg)

完了

備考:

- 利用可能な単位はモデルによって異なります。さらに国内法により、ターミナルにはリストされているユニットの一部が含まれていない場合があります。
- セキュリティスイッチがオンになっている場合、単位メニューは現在の設定でロックされます。

4.6 RS232 メニュー

このメニューで通信パラメーターを定義できます。工場出荷時のデフォルト設定は太字で示されています。

メニュー	サブメニュー	サブメニュー(セグメントごと)	オプション	オプション(セグメントごと)
RS232 (r.5.2.3.2)	リセット	rESEt	次へ、決定	NO, YES
	ボーレート	bAud	300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600 , 19200, 38400, 57600	/
	パリティ	PARity	7 偶数、7 奇数、7 なし、 8 なし	7 EVEN , 7 Odd , 7 none , 8 none
	ストップビット	StOP	1 ビット、2 ビット	1 b it , 2 b it
	手動シェーク	H.SHAKE	なし、Xon/Xoff	none , ON-OFF
	Alt 印字 CMD	Alt.P	'A' ~ 'Z', P	/
	Alt 風袋引き CMD	Alt.t	'A' ~ 'Z', T	/
	Alt ゼロ CMD	Alt.Z	'A' ~ 'Z', Z	/
	完了	END	/	/

備考: / は、上記の表に該当しないことを示します。

リセット [rESEt]

RS232 メニューを工場出荷時のデフォルトにリセットします。

NO = リセットしない

YES = リセット

ボーレート [bAud]

ボーレート (ビット/秒) を設定します。

300 = 300 bps

600 = 600 bps

1200 = 1200 bps

2400 = 2400 bps

4800 = 4800 bps

9600 = 9600 bps

19200 = 19200 bps

38400 = 38400 bps

57600 = 57600 bps

パリティ [PARITY]

データビットとパリティを設定します。

- 7 EVEN = 7 データビット、偶数パリティ
- 7 Odd = 7 データビット、奇数パリティ
- 7 NONE = 7 データビット、パリティなし
- 8 NONE = 8 データビット、パリティなし

ストップビット [STOP]

ストップビット数を設定します。

- 1 bit = 1ストップビット
- 2 bit = 2ストップビット

手動シェーク [H.SHAKE]

フロー制御方法を設定します。ハードウェア手動シェークは、COM1メニューでのみ使用できます。

- NONE = 手動シェークなし
- ON-OFF = XON/XOFF ソフトウェア手動シェーク

ショートカット印字コマンド [ALT.P]

印字のショートカットコマンド文字を設定します。

A(a)～Z(z)の設定が可能です。デフォルト設定はPです。

ショートカット風袋引きコマンド [ALT.L]

風袋引きのショートカットコマンド文字を設定します。

A(a)～Z(z)の設定が可能です。デフォルト設定はTです。

ショートカットゼロ コマンド [ALT.Z]

ゼロ設定のショートカットコマンド文字を設定します。

A(a)～Z(z)の設定が可能です。デフォルト設定はZです。

完了 [END]

次のメニューに進むか、現在のメニューの先頭に戻ります。

4.7 印字メニュー

パラメーターは印字メニューで設定できます。デフォルト設定は太字です。

メニュー	サブメニュー	サブメニュー (セグメントごと)	オプション	オプション (セグメントごと)
印字 (P.r. Unit)	リセット	rESEt	次へ、決定	NO, YES
	割り当て	ASSIGN	デマンド、安定時自動、承認時自動、間隔 (秒)、MT-継続、OH-継続、SICS、NCI、8213、3835、SCP01	dEMAND, ON.StAb, ON.ACCEP, mTEr, rTb.CON, OH.CON, SICS, NCI, 8213, 3835, SCP01
	安定重量限定 [デマンド]	StAbLE	切、入 (LFT 強制 入)	OFF, ON
	モード [自動オン安定]	rTbDE	計量、計量、ゼロ	LOAD, LOAD:Zr
	時間 [間隔 (秒)]	tINTe	1~5000	/
	内容	CONtEnt	結果、総量、正味、風袋、ヘッダー、フッター、モード、単位、情報	rESult, Gross, Net, tArE, HEAdEr FOOTEr, rTbDE, Unit, INFO
	レイアウト	LAYOUt	フォーマット、フィード	FORmT, FEEd
	完了	End	/	/

備考:/ は、上記の表に該当しないことを示します。

リセット [**rESEt**]

印字メニューを工場出荷時のデフォルトにリセットします。

NO = リセットしない

YES = リセット

割り当て [**ASSIGN**]

デマンド = 印字キーを押すと印字が行われます。

安定時 = 安定基準が満たされるたびに印字が行われます

承認時 = 表示が重量アラートの許容範囲内にあり、安定性基準が満たされるたびに印字が行われます。

備考: 重量アラートモードが有効な場合、承認時が表示されます。

間隔 = 印字は定義された間隔で行われます

継続 = 印字は継続的に行われます

NCI = 以下参照 6.2.1 NCI プロトコル

8213 = 以下参照

6.2.2 8213 インターフェイス プロトコル

3835 = 以下参照 6.2.3 3835 プロトコル

NCI-SCP01 = 以下参照 6.2.4 NCI-SCP01 プロトコル

デマンド [**dEMAND**]

デマンドを選択すると、サブメニューの**安定時限定**が表示されます。

印字基準を設定します。

OFF = 安定性に関係なく、数値はすぐに印字されます。

ON = 数値は、安定基準が満たされた場合にのみ印字されます。

安定時自動 [**ON.StAb**]

安定時自動を選択すると、サブメニューの**モード**が表示されます。

印字モードを設定します。

LOAD = 表示された計量物が安定すると印字されます。

LOAD:Zr = 表示された計量とゼロの読み値が安定すると印字されます。

承認時自動 [ON.ACCEPT]

承認時自動が選択され、計量モードがアラートの場合、重量が受け入れられると数値が印字されます。

ON.ACCEPT = 表示がアラート範囲内にあり、安定基準が満たされるたびに印字が行われます。

間隔 [INTER]

間隔を選択すると、サブメニューの時間が表示されます。

INTER = 定義された時間間隔で印字が行われます。

1～5000 秒の設定が可能です。デフォルトは 1 です。

印字は、定義された時間間隔で行われます。

MT-継続 [MT.CONT]

継続 = 継続して印字が行われます。

MT-継続を選択すると、印字出力は MT-継続形式になります。

MT.CONT = 印字は継続的行われます。

備考: 以下参照 11.1 付録 A MT-継続フォーマット用。

CSUPP

CSUPP には 2 つのオプションがあります。

切 = 無効

入 = 有効

CSUPP が入に設定されている場合、MT-継続を選択すると、出力にチェックディジットが含まれます。

CSUPP が切に設定されている場合、MT-継続を選択すると、チェックディジットは出力されません。

OH-継続 [OH.CONT]

OH-継続が選択されている場合、印字出力は OH-継続形式になります。

備考: 以下参照 11.4 付録 D OH-継続フォーマット用。

OH.CONT = 印字は継続的行われます。

SICS [SICS]

切 = MT-SICS コマンドが無効

入 = MT-SICS コマンドが有効

備考: 以下参照 11.2 付録 B SICS コマンド用

内容 [CONTENT]

印字データの内容を定義します。

結果

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = 表示された測定値が印字されます

総重量

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = 総重量が印字されます

正味量

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = 正味量が印字されます

風袋

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = 風袋量が印字されます

ヘッダー

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = ヘッダーが印字されます

備考: 以下参照 11.3 付録 ヘッダー行の入力方法がわかります。

フッター

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = フッターが印字されます

備考: 下記参照 11.3 Appendix フッター行の入力方法を示す。

モード

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = モードが印字されます

単位

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = 単位が印字されます

情報

ステータスを設定します。

切 = 無効

入 = 参照情報が印字されます (例: アラート制限)

レイアウト [LAYOUT]

プリンターやパソコンに出力するデータのフォーマットを設定します。

フォーマット

印字フォーマットを設定します。

MULTI = 複数行 (単独列スタイル) の印字結果が生成されます。

SINGLE = 1 行の印字結果が生成されます。

フィード

紙送りを設定します。

LINE = 印字後に用紙を 1 行上に移動します。

4LF = 印字後に用紙を 4 行上に移動します。

FORM = フォームフィードが印字結果に追加されます。

印字完了 [End]

次のメニューに移動するか、現在のメニューの先頭に戻ります。

印字内容の選択

標準の RS232 またはオプションの通信インターフェイスを介して端末を PC に接続し、PC で オーハウスの ScaleMate ソフトウェアを実行することができます。

OHAUS ScaleMate > Print で、印刷内容を選択できます。(結果、総重量、正味重量、風袋重量、ヘッダー、フッター、モード、単位、および情報) を選択するためのウィンドウが表示されます。必要なコンテンツを選択したら、書き込みボタンをクリックして、データをスケールに送信します。(例えば: 正味重量と総重量を選択した場合は、ScaleMate ソフトウェアの書き込みボタンをクリックします。結果と総重量が有効になり、その他のオプションはスケールで無効になります。)

したがって、印字結果から正味重量と総重量を確認できます。

備考: ScaleMate ソフトウェアのインストール、およびソフトウェアのその他の機能の詳細については、オーハウスの代理店にお問い合わせください。

4.8 ロックボタンの設定

L.o.c.kメニューは、特定のボタンへのアクセスをロックするために使用されます。1つの選択に対して入を選択すると、関連するボタンを押しても無視されます。

すべてのキーをロックを選択すると、すべてのボタンの機能が失われます。

メニューボタンがロックされている場合は**UN.LOCK**が表示されるまで**メニューボタン**を 15 秒間長押しします。**決定ボタン**を押して確定します。

アイテム	利用可能な設定(太字がデフォルト設定)
すべてのキーをロック [L.ALL]	切、入
切キーをロック [L.OFF]	切、入
ゼロキーをロック [L.ZERO]	切、入
印字キーをロック [L.Pr int]	切、入
単位キーをロック [L.Un it]	切、入
モードキーをロック [L.Mode]	切、入
メニューキーをロック [L.MENU]	切、入
風袋キーをロック [L.tARE]	切、入
リセット	次へ、決定

5. 法定計量設定

スケールを貿易または法的に管理された用途で使用する場合は、現地の度量衡規則に従ってセットアップ、検証、および封印する必要があります。関連するすべての法的要件が満たされていることを確認するのは、購入者の責任です（日本では取引証明用には使用できませんのでご注意ください。通常使用の場合は OFF の設定でご利用ください）。

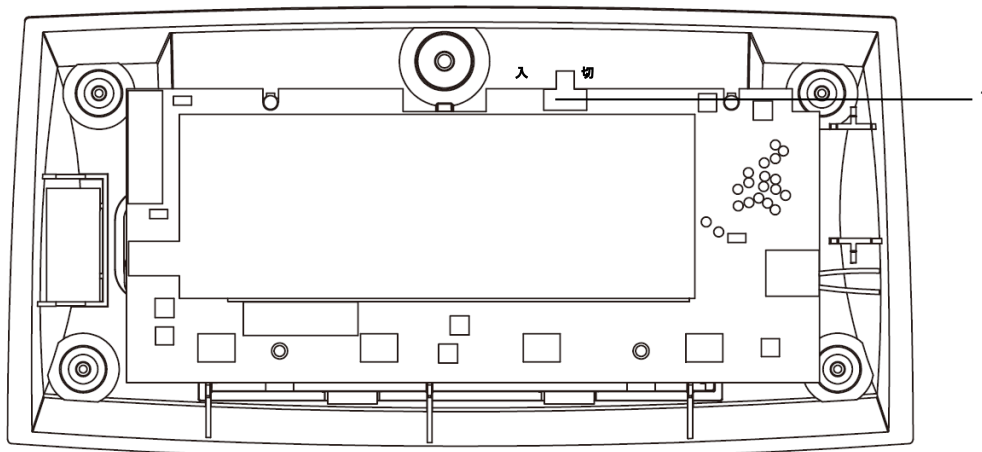
5.1 設定

検証と封印の前に、次の手順を実行できます。

- 1.メニュー設定が現地の度量衡規制を満たしていることを確認します。
- 2.校正メニューセクションで説明されているように、校正を実行します。
- 3.端末の電源を切ります。

以下の手順を参照して、セキュリティスイッチを入にすることができます。

1. 端末から電源を切断します。
備考:クーリエ 7000 にバッテリーを使用している場合は取り外してください。
2. 筐体を取り外します。
3. セキュリティスイッチ (S1) を入にします。S1 の位置については、次の図を参照してください。



アイテム	説明
1	セキュリティスイッチ (S1)

図 5-1 C7000 セキュリティスイッチ (S1) の位置

4. 筐体を取り付けます。
5. 電源を再接続し、端末の電源を入れます。

5.2 検証

現地の度量衡役人または認定サービス代理店が検証手順を実行する必要があります。

5.3 封印

スケールは検証を行い、法的に管理された設定への未確認アクセスを防ぐために封印する必要があります。封印方法は下図を参照してください。

- 封印紙: 図 5-2 のように皿ネジに封印紙を貼り付けます。
- ワイヤー封印: 皿ネジを、パッケージボックスにあるクロスドリルネジに置き換えます。次に、図 5-3 に示すように、封印ワイヤをねじ頭と下部ハウジングの永久タブに通します。

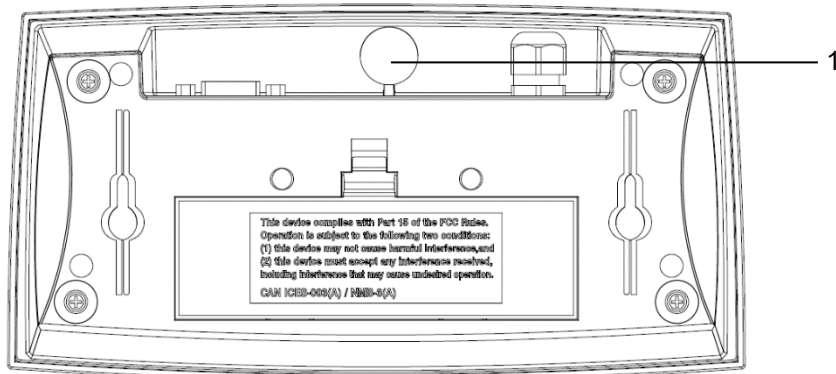


図 5-2 C7000 紙封印

アイテム	説明
1	紙封印

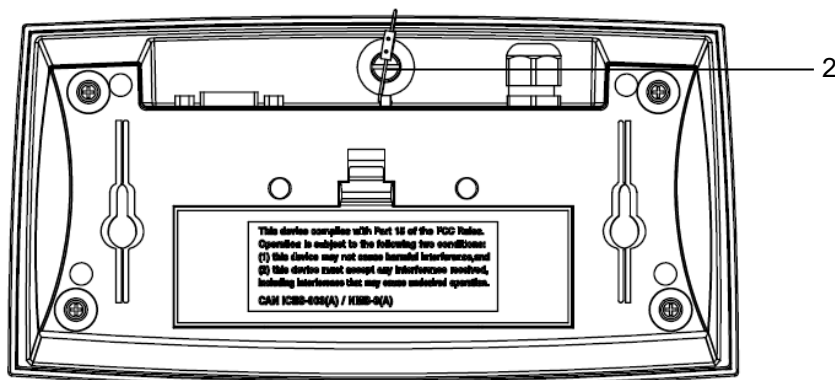
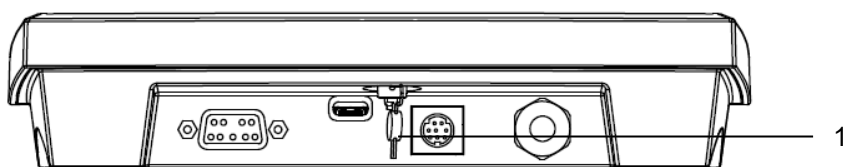


図 5-3 C7000 ワイヤー封印

アイテム	説明
1	ワイヤー封印
2	封印ネジ

6. 通信

C7000 スケールは、特定サードパーティの物流ソフトウェアまたはプロトコルと互換性があるように設定できます。

6.1 デバイスポート接続に合わせて拡張

C7000 スケールには、標準の RS232 ポートと USB タイプ C ポートがあります。

6.1.1 USB (タイプ C) ポート

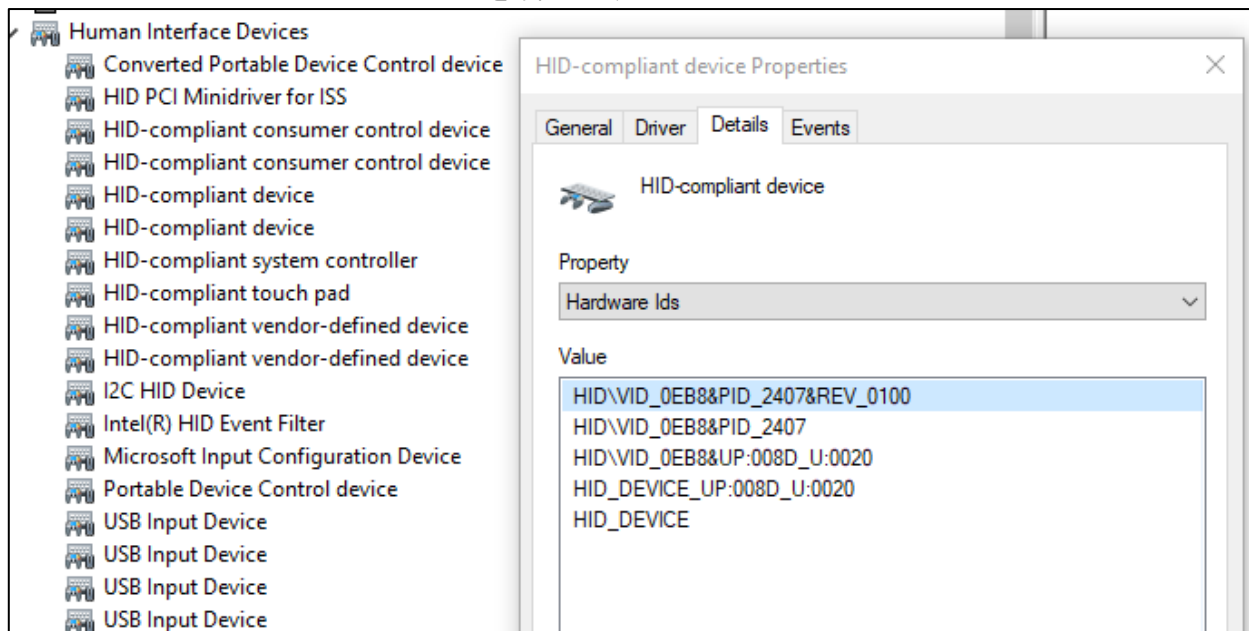
USB では、HID と CDC (仮想シリアル接続) を含む 2 種類の USB 通信を構成できます。

USB HID

USB タイプ C を使用してスケールを PC に接続し、HID タイプを選択すると (**HID がデフォルト設定です**)、スケールは追加設定なしで物流ソフトウェア (UPS / FedEx / DHL) と互換性があります。

HIDPOS は、スケールを含む POS 機器用の標準の Microsoft ヒューマン インターフェイス デバイスプロトコルです。PC 上のソフトウェアが HIDPOS 用にプログラムされている場合、接続は「プラグ アンド プレイ」であり、追加のドライバーは必要ありません。この場合、スケールは PC の USB 周辺機器として動作します。

スケールを USB で PC に接続したら、スケールと PC の電源を入れます。C7000 スケールが HID 準拠デバイスとして識別されるべき PC におけるデバイスマネージャーを確認します：



HID 準拠デバイスが見つかったら、デバイスを使用する準備が整います。

USB 仕様は次のように表示されます。

- ベンダーID= 0EB8
- プロダクト ID=2407

HID リストにこのデバイスが見つからない場合は、USB 接続を再確認してください。

USB CDC

ホストコンピューターソフトウェアを仮想シリアルポート経由で接続する必要がある場合は、USB タイプ C ケーブルを使用し、C7000 ソフトウェアで CDC タイプの接続を選択することにより、スケールを PC に接続できます：

手順

1. **ON** がディスプレイに表示されるまで、**メニュー**ボタンを長押しします。
2. **メニュー**ボタンを離すと、**OFF** がディスプレイに表示されます。
3. **USB** がディスプレイに表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
4. **決定**ボタンを押すと、ディスプレイに **OFF** が表示されます。
5. **次へ**ボタンを 1 回短く押すと、ディスプレイに **TYPE** が表示されます。
6. **決定**ボタンを短く押して、サブメニューに入ります。
7. **OFF** がディスプレイに表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
8. **決定**ボタンを短く押して確定します。

C7000 ソフトウェアで CDC タイプを選択した後、互換性のある対応するプロトコルを選択します。使用している出荷ソフトウェアに関連するものです。

手順

1. **MENU** がディスプレイに表示されるまで、**メニュー**ボタンを長押しします。
2. **メニュー**ボタンを離すと、**CALL** がディスプレイに表示されます。
3. **Protocol** がディスプレイに表示されるまで、**いいえ**ボタンを数回短く押します。
4. **決定**ボタンを押すと、ディスプレイに **RESET** が表示されます。
5. **次へ**ボタンを 1 回短く押すと、ディスプレイに **ASSIGN** が表示されます。
6. **決定**ボタンを短く押して、サブメニューに入ります。
7. 目的のプロトコル (NCI/8213/3835/SCP01) がディスプレイに表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
8. **決定**ボタンを短く押して確定します。

例えば: UPS Worldship / FedEx Ship Manager はプロトコル 3835 を使用します。

6.1.2 RS232 ポート

RS232 ポート経由で通信するようにスケールを設定することもできます。

手順

1. **MENU** がディスプレイに表示されるまで、**メニュー**ボタンを長押しします。
2. **メニュー**ボタンを離すと、**CALL** がディスプレイに表示されます。
3. **Protocol** がディスプレイに表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。
4. **決定**ボタンを押すと、ディスプレイに **RESET** が表示されます。
5. **次へ**ボタンを 1 回短く押すと、ディスプレイに **ASSIGN** が表示されます。
6. **決定**ボタンを短く押して、サブメニューに入ります。
7. 目的のプロトコルがディスプレイに表示されるまで、**次へ**ボタンを数回短く押します。

備考: 例えば: UPS/FEDEX/DHL-3835

8. **決定**ボタンを短く押して確定します。

C7000 RS232 接続

オプションの RS232 ケーブルを C7000 ターミナルの RS232 コネクタに接続できます。各ピンの定義は、図 6-1 を参照してください。

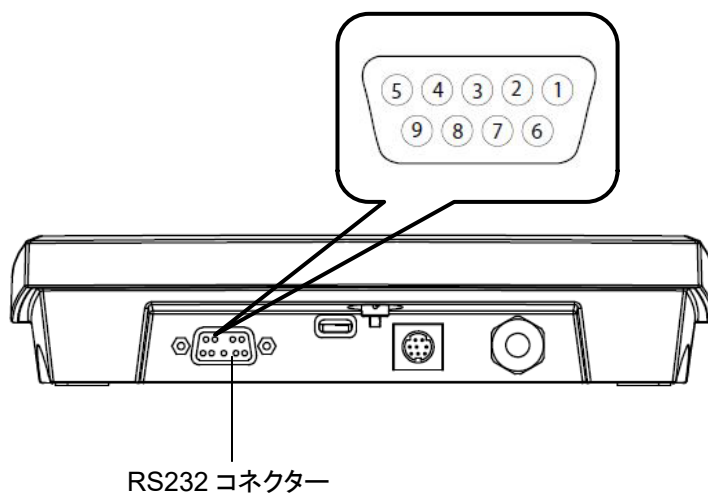


図 6-1 C7000 RS232 コネクター

ピン	接続	ピン	接続
1	N/C	6	N/C
2	TXD	7	N/C
3	RXD	8	N/C
4	N/C	9	N/C
5	GND		

6.1.3 その他のオプション (セカンド RS232 またはイーサネットまたは WiFi / Bluetooth またはセカンドディスプレイ)

スケールは、セカンド RS232 またはイーサネットまたは WiFi / Bluetooth を介して印字および他のデバイスと通信するように設定できます。

4.1.1 ユーザーメニュー (セグメントごと)を参照すると、ワイヤレス、イーサネット、およびオプションの RS232 の設定を見つけることができます。

詳細については、アクセサリのマニュアルを参照してください。

6.2 インターフェイス プロトコル

USB CDC / RS232 / セカンド RS232 / イーサネット / WiFi - BT を使用してスケールを PC に接続する場合は、付属のソフトウェアと互換性のある対応するプロトコルを選択してください。

例えば: UPS Worldship / FedEx Ship Manager - 3835.

- NCI プロトコル
- 8213 プロトコル
- 3835 プロトコル
- NCI-SCP01 プロトコル

6.2.1 NCI プロトコル

NCI プロトコル																			
表示重量のリクエスト																			
コマンド	W<CR>(57h,0dh)																		
容量オーバー (無効なデータ)	<LF>	^	^	^	^	^	^	^	^	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>		
容量不足 (-20d)	<LF>	-	-	-	-	-	-	-	-	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>		
ゼロ点エラー (ゼロ起点)	<LF>	-	-	-	-	-	-	-	-	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>		
単位 lb/oz/kg/g (通常データ)	<LF>	<p>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<sp>	<W>	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>			
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	o	z	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<W>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	.	<W>	o	z	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<sp>	<W>	<W>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	o	z	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>

高解像度ウェイトのリクエスト (10x)																					
コマンド	H<CR> (48, 0dh)																				
容量オーバー (無効なデータ)	<LF>	^	^	^	^	^	^	^	^	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
容量不足	<LF>	_	_	_	_	_	_	_	_	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
ゼロ点エラー	<LF>	_	_	_	_	_	_	_	_	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
単位 lb/oz/kg/g (通常データ)	<LF>	<p>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<U>	<U>	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>				
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	o	z	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>	
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<W>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	o	z	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>	
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	.	<W>	o	z	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>	
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<sp>	<W>	<W>	<W>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	<W>	o	z	<CR>	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>

現在のステータスをリクエスト					
コマンド: S<CR> (53h,0dh)					
応答	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>

スケールをゼロにリクエスト					
コマンド: Z<CR> (5ah,0dh)					
ゼロキーをシミュレート	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>

風袋引きをリクエスト					
コマンド: T<CR> (54h,0dh)					
風袋キーをシミュレート	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>

スケールの電源を切る					
コマンド: X<CR> (58h,0dh)					
切キーをシミュレート	x	x	x	x	x

認識できないコマンド					
コマンド: その他 (xxh,0dh)					
応答	<LF>	?	<CR>	<ETX>	

記号とビットの定義

使用記号	<LF>	改行 (0Ah)
	<CR>	キャリッジリターン (0Dh)
	<ETX>	テキストの終わり (03h)
	<sp>	スペース (20h)
	<p>	極性「-」または「」(2Dh または 20h)
	<U><U>	測定単位「lb」、「oz」、「kg」、「g」
	<W><W><W><W><W>	重量データ 5~6 バイト
	<H1><H2>	現在のステータス

ビット定義 <H1-H3>	ビット	バイト 1 (H1)	バイト 2 (H2)
	0	0= 安定 1= 不安定	0= 容量不足ではない 1= 容量不足
	1	0= ゼロ点ではない 1= ゼロ点	0= 容量オーバーではない 1= 容量オーバー
	2	0= RAM OK 1= RAM エラー	0= フラッシュ ROM OK 1= フラッシュ ROM エラー
	3	0= eeprom OK 1= eeprom エラー	0= 校正 OK 1= 校正エラー
	4	常に 1	常に 1
	5	常に 1	常に 1
	6	常に 0	常に 0
	7	パリティ	パリティ

8213 プロトコル												
表示重量のリクエスト												
コマンド:W (57h)												
容量オーバー (無効なデータ)	<STX>	?	<S>	<CR>								
容量不足 (-20d)	<STX>	?	<S>	<CR>								
ゼロ以下 (Mulis)	<STX>	?	<S>	<CR>								
不安定	<STX>	?	<S>	<CR>								
単位 lb/oz/kg/g (通常データ)	<STX>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<W>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<sp>	<W>	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb:oz	<STX>	<W>	l	b	<W>	<W>	.	<W>	<W>	o	z	<CR>
単位 lb:oz	<STX>	<W>	<W>	l	b	<W>	<W>	.	<W>	o	z	<CR>
単位 lb:oz	<STX>	<sp>	<W>	<W>	<W>	l	b	<W>	<W>	o	z	<CR>

高解像度ウェイトのリクエスト (10x)													
コマンド: H (48h)													
容量オーバー (無効なデータ)	<STX>	?	<S>	<CR>									
容量不足 (-20d)	<STX>	?	<S>	<CR>									
ゼロ以下 (Mulis)	<STX>	?	<S>	<CR>									
不安定	<STX>	?	<S>	<CR>									
単位 lb/oz/kg/g (通常データ)	<STX>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<W>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb/oz/kg/g	<STX>	<W>	<W>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<U>	<U>	<CR>		
単位 lb:oz	<STX>	<W>	l	b	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	o	z	<CR>
単位 lb:oz	<STX>	<W>	<W>	l	b	<W>	<W>	.	<W>	<W>	o	z	<CR>
単位 lb:oz	<STX>	<W>	<W>	<W>	l	b	<W>	<W>	.	<W>	o	z	<CR>
単位 lb:oz	<STX>	<sp>	<W>	<W>	<W>	<W>	l	b	<W>	<W>	o	z	<CR>

スケールをゼロにリクエスト				
コマンド: Z (5ah)				
ゼロキーをシミュレート	<STX>	?	<S>	<CR>

スケールはエコモードになります			
コマンド: E (45h)			
エコモードの有効化	<STX>	E	<CR>

スケールはエコモードを抜け出しました

コマンド:F (46h)

エコ モードの無効化	<STX>	F	<CR>
------------	-------	---	------

スケール は RAM と ROM のテストを開始します

コマンド:A (41h)

RAM/ROM テスト	<STX>	?	<CR>
-------------	-------	---	------

スケールの信頼性テスト結果のステータス

コマンド:B (42h)

テスト結果(コマンド A)	<STX>	<C>	<CR>
---------------	-------	-----	------

ビット定義	ビット	信頼度 <C>
	0	常に 0
	1	常に 0
	2	常に 0
	3	0= RAM OK 1= RAM エラー
	4	0=フラッシュ ROM OK 1=フラッシュ ROM エラー
	5	常に 0
	6	常に 0
	7	パリティ

認識できないコマンド

コマンド:その他

応答	<STX>	?	<S>	<CR>
----	-------	---	-----	------

記号とビットの定義

使用記号	<STX>	テスト開始 (02h)
	<CR>	キャリッジ リターン (0Dh)
	<sp>	スペース (20h)
	<U><U>	測定単位 「lb」、「oz」、「kg」、「g」
	<W><W><W><W><W>	重量データ 5~6 バイト

ビット定義	ビット	ステータス <S>
	0	0= 安定 1= 不安定
	1	0= 容量をカバーしない 1= 容量をカバー
	2	0= ゼロ未満ではない 1= ゼロ未満
	3	0= 内部の初期ゼロ 1= 外部の初期ゼロ
	4	0= ゼロの中心ではない 1= ゼロの中心
	5	常に 1
	6	常に 1
	7	パリティ

6.2.3 3835 プロトコル

3835 プロトコル																	
表示重量のリクエスト																	
コマンド: W <CR>(57h, 0dh)																	
容量オーバー (無効なデータ)	<LF>	^	^	^	^	^	^	^	^	<U>	<U>	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>		
容量不足 (-20d)	<LF>	-	-	-	-	-	-	-	-	<U>	<U>	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>		
単位 lb/oz/kg/g (通常データ)	<LF>	<p>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<W>	<W>	<W>	<W>	.	<W>	<U>	<U>	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>			
単位 lb/oz/kg/g	<LF>	<p>	<sp>	<W>	<W>	<W>	<W>	<W>	<U>	<U>	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>			
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	.	<W>	<W>	o	z	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<W>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	.	<W>	o	z	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>
単位 lb:oz	<LF>	<p>	<sp>	<W>	<W>	<W>	l	b	<sp>	<W>	<W>	o	z	<CR>	<H1>	<H2>	<ETX>
初期ゼロエラー	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>												

現在のステータスをリクエスト

コマンド: S <CR> (53h, 0dh)					
応答	<LF>	<H1>	<H2>	<CR>	<ETX>

スケールをゼロにリクエスト

コマンド: Z <CR> (5ah, 0dh)	
応答	スケールはゼロ調整済み、スケールからの応答がありません

認識できないコマンド

コマンド: その他			
応答	<LF>	?	<CR>

記号とビットの定義

使用記号	<LF>	改行 (0Ah)
	<CR>	キャリッジ リターン (0Dh)
	<ETX>	テキストの終わり (03h)
	<sp>	スペース (20h)
	<p>	極性「-」または「」(2Dh または 20h)
	<U><U>	測定単位「lb」、「oz」、「kg」、「g」
	<W><W><W><W><W><W>	重量データ 6 バイト
	<H1><H2>	現在のステータス

ビット定義 <H1 H2>	ビット	バイト 1 (H1)	バイト 2 (H2)
	0	0= 安定 1= 不安定	0= 容量不足ではない 1= 容量不足
	1	0= ゼロ点ではない 1= ゼロ点	0= 容量オーバーではない 1= 容量オーバー
	2	0= RAM OK 1= RAM エラー	0= フラッシュ ROM OK 1= フラッシュ ROM エラー
	3	0= eeprom OK 1= eeprom エラー	0= 校正 OK 1= 校正エラー
	4	常に 1	常に 1
	5	常に 1	常に 1
	6	常に 0	常に 0
	7	パリティ	パリティ

6.2.4 NCI-SCP01 プロトコル

コマンド: W<CR> (57h 0dh)、現在の読み込みリクエスト

応答
<LF>^^^^^^^U ₁ U ₂ U ₃ U ₄ U ₅ <CR><LF>H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>---容量オーバー
<LF> _ _ _ _ _ U ₁ U ₂ U ₃ U ₄ U ₅ <CR><LF>H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>---容量不足
<LF>- - - - - U ₁ U ₂ U ₃ U ₄ U ₅ <CR><LF> H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>---ゼロ点エラー
備考: U ₁ U ₂ U ₃ U ₄ U ₅ は、現在の単位 (kg, pcs, g) に従って、1、2、3、または 5 バイトです。
<LF><P>W ₁ W ₂ W ₃ W ₄ W ₅ <DP>W ₆ U ₁ U ₂ U ₃ U ₄ U ₅ <CR><LF> H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>---通常のデータ
備考: (1) 小数点位置は CONFIG-PRIM.D で決定 (2) 現在の単位が「lb:oz」の場合、フォーマットは次のようになります。
<LF><P>W ₁ W ₂ W ₃ lb <SP> W ₄ W ₅ <DP> W ₆ oz<CR><LF> H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>

コマンド: S<CR> (53h 0dh)、現在のステータスをリクエスト

応答
<LF>H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>

コマンド: Z<CR> (5ah 0dh)

応答
ゼロ機能が有効になり (ZERO キーをシミュレート)、現在のスケールの状態に戻ります。
<LF>H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>

ZERO 機能を有効にできない場合は、現在のスケールの状態に戻ります。

コマンド: T<CR> (54h 0dh)

応答
風袋機能が有効になり (風袋キーをシミュレート) スケールの状態に戻ります。
<LF>H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>

TARE 機能を有効にできない場合は、現在のスケールの状態に戻ります。

コマンド: U<CR> (55h 0dh)

応答
計量単位を変更し (単位キーをシミュレート)、新しい単位でスケールの状態に戻ります。新しい計量単位の使用を許可する必要があります
<LF>U ₁ U ₂ U ₃ U ₄ U ₅ <CR><LF>H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>

コマンド: L<CR> (4ch 0dh)

応答
ホールド機能を有効にできる場合は、ホールド機能を有効/無効にし (ホールドキーをシミュレート)、スケールの状態に戻ります。
<LF>H ₁ H ₂ H ₃ H ₄ <CR><ETX>

コマンド: X<CR> (58h 0dh)

応答
スケールの電源を切ります。入/切 キーを押してスケールをオフにするのと同じです。

コマンド: その他すべて

応答
認識できないコマンド
<LF>?<CR><ETX>

トランザクション文字列

遷移文字列の各項目の長さ。

- 読み取りデータ - 6 バイト
- データ極性---1 バイト: 最初の桁に続く「-」は負を意味し、「」は正を意味します。
- 小数点 -- 1 バイト: 「。」
- 計量単位---1 ~ 5 バイト: 「kg」、「pcs」、「%」。単位は常に小文字で、左揃えです。
- 現在のステータス - 4 バイト
 - 重量が秤量を超える場合、スケールは 8 文字の「^」を返します (極性、小数点、重量データのフィールドは「^」で埋められます)。
 - 重量が秤量未満の場合、スケールは 8 文字の「_」を返します (極性、小数点、重量データのフィールドは「_」で埋められます)。
 - ゼロ点がエラーの場合は、スケールは 8 文字の「-」を返します (極性、小数点、重量データのフィールドは「-」で埋められます)。

先頭の 0 が抑制されない限りにおいて。読み取り重量は右揃えです。

表 6-1 使用される記号

<LF>	改行文字 (16 進 0AH)
<CR>	キャリッジリターン文字 (16 進 0DH)
<ETX>	テキスト文字の終わり (16 進 03H)
<SP>	スペース (16 進 20H)
H ₁ H ₂ H ₃ H ₄	4 つの現在のステータス バイト
<P>	極性文字: 「-」または「」
W ₁ ...W ₆	読み取りデータ、1 ~ 6 バイト (6 桁)
<DP>	小数点
U ₁ U ₂ U ₃ U ₄ U ₅	測定単位、kg、% または 個; 2~5 バイト
<追加>	スケールのアドレス; 2 バイト (00-99)
<プロンプト>	出力コンテンツのプロンプト文字; 最大 11 バイト

表 6-2 H₁H₂H₃H₄ のビット定義

ビット	バイト 1 (H ₁)	バイト 2 (H ₂)	バイト 3 (H ₃)	バイト 4 (H ₄)
0	0= 安定	0= 容量不足ではない	00= 比較無効 01= 下限 10= OK 11= 上限	00= 通常計量 01= カウント計量 10= パーセント計量 11= その他のモード
	1= 不安定	1= 容量不足		
1	0= ゼロ点ではない	0= 容量オーバーではない		
	1= ゼロ点	1= 容量オーバー		
2	0= RAM 正常	0= ROM 正常	0= 総重量 1= 正味重量	0= ホールド中ではない 1= ホールド中
	1= RAM エラー	1= ROM エラー		
3	0= eeprom OK	0= 校正 OK	0= 初期ゼロ OK 1= 初期ゼロエラー	0= バッテリーOK 1= バッテリー残量低
	1= eeprom エラー	1= 校正エラー		
4	常に 1	常に 1	常に 1	常に 1
5	常に 1	常に 1	常に 1	常に 1
6	常に 0	常に 1	常に 1	常に 0
7	パリティ	パリティ	パリティ	パリティ

7. メンテナンス

7.1 クリーニング

クーリエ 7000 の場合、必要に応じて中性洗剤で湿らせた布で筐体をクリーニングできます。

注意: クリーニングの前に、ユニットを電源から切り離してください。



警告: 感電の危険。クリーニングの前に、装置を電源から切り離してください。
装置の内部に液体が入らないようにしてください。



留意: 溶剤、刺激の強い化学薬品、アンモニア、または研磨洗浄剤は使用しないでください。

7.2 トラブルシューティング

表 7-1 トラブルシューティング

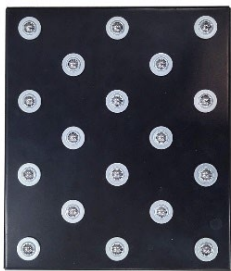
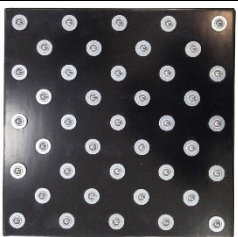
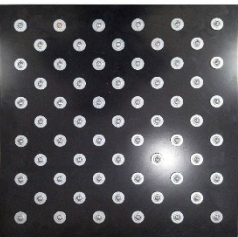
徴候	考えられる原因	解決法
EEP エラー	EEPROM チェックサムエラー	破損した EEPROM データ
端末の電源を入れることができない。	1. USB ケーブルが差し込まれていないか、PC に正しく接続されていません。 2. 電源コードが差し込まれていないか、正しく接続されていません。 3. 電源コンセントが電力を供給していません。 4. バッテリー切れ。 5. その他の不具合。	1. USB ケーブルの接続を確認してください。USB ケーブルが正しく差し込まれていることを確認してください。 2. 電源コードの接続を確認してください。電源コードがコンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。 3. 電源を確認してください。 4. バッテリーを交換してください。 5. 修理サービスが必要です。
目盛りをゼロにできない、または電源を入れても目盛りがゼロにならない。	1. 計量重量が許容範囲を超えています。 2. 計量物が安定しない。 3. ロードセルが破損しています。	1. 計量皿から計量物を取り除きます。 2. 計量物が安定するのを待ち、スケールの周囲とスケール上の計量物をチェックして、過度の振動や動きがないか、フィルタリングを増やします。 3. 修理サービスが必要です。
校正できません。	LFT セキュリティ スイッチがオンになっています。	LFT セキュリティ スイッチをオフにします。
希望の計量単位で重量を表示できない。	単位設定が無効になっています。	単位メニューで単位設定を有効にしてください。ヘルプについては 4.5 単位メニュー を参照してください。
メニュー設定を変更できません。	メニューボタンがロックされています。	1. メニューキーを最大 30 秒間押し続けメニューにアクセスします。ロックメニューを使用して永久にロック解除できます。 2. LFT セキュリティ スイッチを切にする必要がある場合があります。
Error 8.1	重量測定値が電源オン時ゼロ設定の制限を超えています。	1. 計量皿から計量物を取り除いてください。 2. スケールを再校正してください。
Error 8.2	重量測定値が電源オン時ゼロ設定の制限を下回っています。	1. 計量皿に計量物を追加してください。 2. スケールを再校正してください。(スパン校正、直線性校正には校正分銅が必要です)。
Error 8.3	重量測定値が過負荷限界を超えています。	スケールから計量物を減らしてください。
Error 8.4	重量の読み取り値が過小負荷制限を下回っています。	1. 計量皿に計量物を追加してください。 2. スケールを再校正してください。
Error 8.6	計量値が 6 桁を超えています	スケールから計量物を減らしてください。
Error 9.5	校正データがありません。	スケールを校正してください。
バッテリーマークの点滅	バッテリーの低残量	バッテリーを交換してください。
Err E	校正失敗	正しい校正分銅を使用してください。

備考: 5.1 設定を参照してください。LFT セキュリティスイッチの位置を確認できます。

7.3 サービス情報

トラブルシューティングのセクションで問題が解決しない場合は、認定オーハウスサービス エージェントにお問い合わせください。米国でのサービスアシスタンスについては、東部標準時の午前 8:00 から午後 5:00 の間にフリーダイヤル 1-800-526-0659 に電話してください。オーハウス製品サービススペシャリストがお手伝いします。米国以外の場合は、当社のウェブサイト www.ohaus.com にアクセスして、各国のオーハウスオフィスを見つけてください。

8. オプション品

アイテム	説明	写真
1	Platform i-C71 R ベース用ボールトップ	
2	Platform i-C71 R ベース用ローラートップ	
3	Platform i-C71 X ベース用ボールトップ	
4	Platform i-C71 L ベース用ボールトップ	
5	Platform i-C71 L ベース用ローラートップ	
6	Platform i-C71 X ベース用ローラートップ	

アイテム	説明	写真
7	支柱取付キット i-C71 CS	
8	RS232 インターフェースキット	
9	Wi-Fi/Bluetooth キット i-C71	/
10	イーサネットインターフェース i-C71	
11	補助ディスプレイ i-C71	
12	SF40 プリンター	/
13	ケーブル RS232 IBM 9P オス-メス	/

9. 技術データ

9.1 仕様

機器の評価:

屋内使用のみ

高度:

2,000m

動作温度:

-10℃ ～ 40℃

湿度:

最大相対湿度 31℃までの温度で 80%、40℃ で相対湿度 50%まで直線的に減少。

電源供給:

5VDC、1A (認証済みまたは承認済みの電源で使用するため、SELV および限られたエネルギー出力が必要です。)

または単3乾電池4本。

電圧変動:

主電源電圧の変動は、公称電圧の最大 ±10% です。

過電圧カテゴリ(設置カテゴリ):

II

汚染度:

2

表 9-1 モデルの仕様

モデル	i-C71M15R	i-C71M60R	i-C71M60L	i-C71M150L	i-C71M150X
容量 × 可読性 非承認	15 kg x 0.002 kg 15,000 g x 2 g	60 kg x 0.01 kg 60,000 g x 10 g	60 kg x 0.01 kg 60,000 g x 10 g	150 kg x 0.02 kg 15,000 g x 20 g	150 kg x 0.02 kg 15,000 g x 20 g
最大表示解像度	1:7,500	1:6,000	1:6,000	1:7,500	1:7,500
容量 × 承認済可読性	15 kg x 0.005 kg 15,000 g x 5 g	60 kg x 0.02 kg 60,000 g x 20 g	60 kg x 0.02 kg 60,000 g x 20 g	150 kg x 0.05 kg 15,000 g x 50 g	150 kg x 0.05 kg 15,000 g x 50 g
OIML/EC タイプ 承認済解像度	1:3,000	1:3,000	1:3,000	1:3,000	1:3,000
計量単位	g、kg(仕向地による)				
インターフェース	標準: USB タイプ-C、RS232、Mini DIN				
	オプション: セカンド RS232、イーサネット、Wi-Fi/Bluetooth				
アプリケーションモード	計量、重量アラート、動物計量/表示ホールド、累計				
動作温度範囲	-10℃ ~ 40℃				
キーボード	4 つの機能				
ディスプレイ	28 mm 桁高 LCD ディスプレイ、白色のバックライト付き				
安定時間	1 秒				
オートゼロトラッキング	切、0.5 d、1 d、3 d				
ゼロ調整範囲	容量の 2%または 100%				
電源	単 3 乾電池 4 本または AC 電源アダプター: 100-240VAC ~ 0.5A 50/60Hz; 電力出力: 5.0 VDC 1.0 A または USB ケーブル (PC への USB 接続)				
バッテリー寿命	バックライト OFF で連続 70 時間使用可能				
安全過負荷容量	容量の 150%				
計量皿寸法	305 x 355 mm		457 x 457 mm		610 x 610 mm
本体構造	炭素鋼フレームとゴム製水平調整脚を備えたステンレス鋼プラットフォーム				
正味重量	8 kg		14 kg		32 kg
梱包重量	10 kg		18 kg		37 kg
梱包寸法	642 x 497 x 212 mm		994 x 680 x 235 mm		1,165 x 780 x 235 mm

9.2 図面と寸法

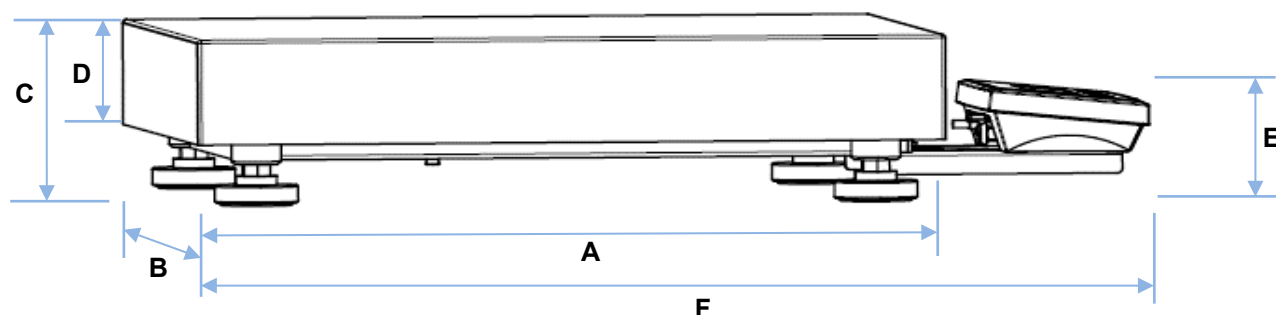


表 9-2 全モデルの寸法

番号	モデル	計量皿サイズ (mm)	寸法 (mm)					
			A	B	C	D	E	F
1	i-C71M15R	305 x 355	305	355	121.8	75	73	457.8
2	i-C71M60R		305	355	121.8	75	73	457.8
3	i-C71M60L		457	457	111.5	70	71	597.8
4	i-C71M150L	610 x 610	457	457	111.5	70	71	597.8
5	i-C71M150X		610	610	132.3	90	70.2	743.8

9.3 GEO コード値の表

表 9-3 GEO コード

		標高 (メートル)										
		s										
		0	325	650	975	1300	1625	1950	2275	2600	2925	3250
		325	650	975	1300	1625	1950	2275	2600	2925	3250	3575
		標高 (フィート)										
		0	1060	2130	3200	4260	5330	6400	7460	8530	9600	10660
		1060	2130	3200	4260	5330	6400	7460	8530	9600	10660	11730
緯度		GEO 値										
0°00'	5°46'	5	4	4	3	3	2	2	1	1	0	0
5°46'	9°52'	5	5	4	4	3	3	2	2	1	1	0
9°52'	12°44'	6	5	5	4	4	3	3	2	2	1	1
12°44'	15°06'	6	6	5	5	4	4	3	3	2	2	1
15°06'	17°10'	7	6	6	5	5	4	4	3	3	2	2
17°10'	19°02'	7	7	6	6	5	5	4	4	3	3	2
19°02'	20°45'	8	7	7	6	6	5	5	4	4	3	3
20°45'	22°22'	8	8	7	7	6	6	5	5	4	4	3
22°22'	23°54'	9	8	8	7	7	6	6	5	5	4	4
23°54'	25°21'	9	9	8	8	7	7	6	6	5	5	4
25°21'	26°45'	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5	5
26°45'	28°06'	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5
28°06'	29°25'	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6
29°25'	30°41'	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6
30°41'	31°56'	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7
31°56'	33°09'	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7
33°09'	34°21'	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8
34°21'	35°31'	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8
35°31'	36°41'	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9
36°41'	37°50'	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9
37°50'	38°58'	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10
38°58'	40°05'	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10
40°05'	41°12'	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11
41°12'	42°19'	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11
42°19'	43°26'	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12
43°26'	44°32'	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12
44°32'	45°38'	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13
45°38'	46°45'	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13
46°45'	47°51'	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14
47°51'	48°58'	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14
48°58'	50°06'	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15
50°06'	51°13'	20	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15
51°13'	52°22'	21	20	20	19	19	18	18	17	17	16	16
52°22'	53°31'	21	21	20	20	19	19	18	18	17	17	16
53°31'	54°41'	22	21	21	20	20	19	19	18	18	17	17
54°41'	55°52'	22	22	21	21	20	20	19	19	18	18	17
55°52'	57°04'	23	22	22	21	21	20	20	19	19	18	18
57°04'	58°17'	23	23	22	22	21	21	20	20	19	19	18
58°17'	59°32'	24	23	23	22	22	21	21	20	20	19	19
59°32'	60°49'	24	24	23	23	22	22	21	21	20	20	19
60°49'	62°00'	25	24	24	23	23	22	22	21	21	20	20
62°00'	63°30'	25	25	24	24	23	23	22	22	21	21	20
63°30'	64°55'	26	25	25	24	24	23	23	22	22	21	21
64°55'	66°24'	26	26	25	25	24	24	23	23	22	22	21
66°24'	67°57'	27	26	26	25	25	24	24	23	23	22	22
67°57'	69°35'	27	27	26	26	25	25	24	24	23	23	22
69°35'	71°21'	28	27	27	26	26	25	25	24	24	23	23
71°21'	73°16'	28	28	27	27	26	26	25	25	24	24	23
73°16'	75°24'	29	28	28	27	27	26	26	25	25	24	24
75°24'	77°52'	29	29	28	28	27	27	26	26	25	25	24
77°52'	80°56'	30	29	29	28	28	27	27	26	26	25	25
80°56'	85°45'	30	30	29	29	28	28	27	27	26	26	25
85°45'	90°00'	31	30	30	29	29	28	28	27	27	26	26

10. コンプライアンス

以下の規格への準拠は、製品の対応するマークによって示されます。

マーク	基準
	この製品は、EU 指令 2011/65/EU (RoHS)、2014/30/EU (EMC)、2014/35/EU (LVD)、および 2014/31/EU (NAWI) の該当する整合規格に準拠しています。EU 適合宣言は、 www.ohaus.com/ce でオンラインで入手できます。
	この製品は、電気および電子機器規則 2012、英国電磁適合性規則 2016、電気機器 (安全) 規則 2016、および非自動計量機器規則 2016 における特定有害物質の使用制限の該当する法定基準に準拠しています。英国適合宣言は、 www.ohaus.com/uk-declarations からオンラインで入手できます。
	この製品は、EU 指令 2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。この製品は、地域の規制に従って、電気および電子機器の指定された回収場所で廃棄してください。ヨーロッパでの廃棄手順については、 www.ohaus.com/weee を参照してください。
	EN 61326-1
	UL 61010-1 CAN/CSA-C22.2 No. 61010-1

EU および英国の i-C71...M 認証済み計量機器に関する重要なお知らせ

機器を取引または法的に管理されたアプリケーションで使用する場合は、現地の度量衡規則に従ってセットアップ、検証、および封印する必要があります。関連するすべての法的要件が満たされていることを確認するのは、購入者の責任です。

製造場所で検証された計量機器には、説明プレートに次の補足計測マークが付いています。

  1259

  8506

2 段階で検証される計量機器には、説明プレートに追加の計測マークがありません。適合性評価の第 2 段階は、該当する度量衡当局によって実施されなければなりません。

国の規制により検証の有効期間が制限されている場合、計量機器のユーザーは再検証期間を厳守し、度量衡当局に通知する必要があります。

検証要件は管轄区域によって異なるため、購入者が要件に精通していない場合は、地元の度量衡局に連絡する必要があります。

ISED カナダ準拠ステートメント:

CAN ICES-003(A) / NMB-003(A)

ISO9001 録

この製品の生産を管理する管理システムは、ISO9001 の認証を受けています。

FCC サプライヤー適合宣言書

47CFR パート B による意図しないラジエーター

商標名: 株式会社OHAUS

モデルまたは製品群識別: i-C71

サプライヤーの適合宣言を発行する当事者:

OHAUSインスツルメンツ(常州)有限公司

Building C, No. 6 Zhengqiang Road, Xuejia Town, Xinbei District, Changzhou

Jiangsu 213022

China

電話番号: +86 519 85287270

責任者 - 米国の連絡先情報:

株式会社OHAUS

8 Campus Drive, Suite 105

Parsippany, NJ 07054

United States

電話番号: +1 973 377 9000

ウェブ: www.ohaus.com

FCC コンプライアンス ステートメント:

備考: この機器は、FCC 則のパート 15 に準拠してテストされ、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、機器が商用環境で操作されている場合に、有害な干渉に対して適切な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地でこの機器を操作すると、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは自費で干渉を修正する必要があります。

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

11. 付録

11.1 付録 A

MT 標準継続出力

チェックサム文字は、継続出力で有効または無効にすることができます。データは、標準継続出力に示されているように、17 または 18 バイトで構成されます。

重要でない重量データと風袋データの数字は、スペースとして送信されます。継続出力モードは、リアルタイムの重量データを必要とするオーハウス製品との互換性を提供します。表 11-1 は、標準継続出力フォーマットを示しています。

表 11-1: 標準継続出力フォーマット

		ステータス ²				表示重量 ³					風袋重量 ⁴							
文字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
データ	STX ¹	SB-A	SB-B	SB-C	MSD	-	-	-	-	LSD	MSD	-	-	-	-	LSD	CR ⁵	CHK ⁶

継続出力形式に関する注意:

1. ASCII テキスト開始文字 (02 hex)、は常に送信されます。
2. ステータスバイト A、B、および C。構造の詳細については、表 11-2、表 11-3、および表 11-4 を参照してください。
3. 表示される重量。総重量または正味重量。6 桁、小数点または符号なし。重要でない先行ゼロ値はスペースに置き換えられます。
4. 風袋重量。6 桁の風袋重量データ。フィールドに小数点はありません。
5. ASCII キャリッジリターン <CR> 文字 (16 進 0D)。
6. セットアップで有効になっている場合にのみ送信されるチェックサム。チェックサムは、データ転送のエラーを検出するために使用されます。チェックサムは、<STX> および <CR> 文字を含む、チェックサム文字の前にあるすべての文字のバイナリ合計の下位 7 ビットの 2 の補数として定義されます。

表 11-2、表 11-3、および表 11-4 に、標準継続出力のステータスバイトの詳細を示します。

表 11-2: ステータスバイト A のビット定義

ビット 2、1、および 0			
2	1	0	小数点位置
0	0	0	XXXXX00
0	0	1	XXXXX0
0	1	0	XXXXXX
0	1	1	XXXXX.X
1	0	0	XXXX.XX
1	0	1	XXX.XXX
1	1	0	XX.XXXX
1	1	1	X.XXXXX
ビット 4 および 3			
4	3	ビルドコード	
0	1	X1	
1	0	X2	
1	1	X5	
ビット 5			常に = 1
ビット 6			常に = 0

表 11-3: ステータスバイト B のビット定義

ステータスビット	機能
ビット 0	総重量 = 0、正味量 = 1
ビット 1	符号、正 = 0、負 = 1
ビット 2	範囲外 = 1 (容量超過またはゼロ未満)
ビット 3	動作中 = 1、安定 = 0
ビット 4	kg = 1 (ステータス バイト C、ビット 0、1、2 も参照)
ビット 5	常に = 1
ビット 6	電源投入後にゼロがキャプチャされない = 1

表 11-4: ステータスバイト C のビット定義

ビット 2、1、および 0			重量の説明
2	1	0	
0	0	0	kg、ステータスバイト B、ビット 4 で選択
0	0	1	グラム (g)
1	0	0	非使用
1	0	1	非使用
1	1	1	単位無し
ビット 3			印字リクエスト = 1
ビット 4			拡張データ × 10 = 1、ノーマル = 0
ビット 5			常に = 1
ビット 6			常に = 0

11.2 付録 B

MT-SICS コマンド

	コマンド	機能
レベル 0	@	スケールをリセットする
	I1	SICS レベルおよび SICS バージョンの照会
	I2	スケールデータの照会
	I3	スケールソフトバージョンの照会
	I4	シリアルナンバーの照会
	S	安定重量値を送信
	SI	重量値をすぐに送信
	SIR	重量値を繰り返し送信
	Z	スケールをゼロ設定する
	ZI	すぐにゼロ設定する
レベル 1	D	テキストをディスプレイに書き込む
	DW	重量表示
	SR	安定重量値を送信して繰り返す
	T	風袋
	TA	風袋値
	TAC	風袋値をクリア
	TI	すぐに風袋引きを行う

	コマンド	機能
レベル 2	C2	外部校正分銅で校正
	C3	内部校正分銅で校正
	I10	スケール ID の照会または設定
	I11	スケールの種類を照会
	P100	プリンターで印字
	P101	安定重量値を印字
	P102	現在の重量値をすぐに印字
	SIRU	現在の単位で重量値をすぐに送信し、繰り返す
	SIU	重量値を現在の単位ですぐに送信
	SNR	安定重量値を送信し、重量が変化するたびに繰り返す
	SNRU	現在の単位で安定した重量値を送信し、重量が変化するたびに繰り返す
	SRU	現在の単位で重量値を送信し、繰り返す
	ST	転送キーを押した後、安定重量値を送信
	SU	現在の単位で安定重量値を送信
	M01	計量モード
	M02	安定性設定
	M03	自動ゼロ機能
	M19	校正分銅を送信
	M21	重量単位の照会/設定
	PRN	すべてのプリンターインターフェイスで印字する
	RST	再起動
	SFIR	すぐに重量値を送信し、すばやく繰り返す
	SIH	重量値を高解像度ですぐに送信
	SWU	重量単位の切り替え
	SX	安定データ記録を送信
	SXI	データ記録をすぐに送信
	SXIR	データ記録をすぐに送信して繰り返す
	U	重量単位の切り替え

11.3 付録 C

次の表にリストされているコマンドは、スケールによって認識されます。

スケールは、無効なコマンドに対して「ES」を返します。

送信する各コマンドの後に `\r\n` を追加してください(`\r` は `\return` を指します。`\n` は `\newline` を指します。)

オーハウスコマンド

コマンド	機能
P	表示された重量を印字します (安定または不安定)。
IP	表示された重量をすぐに印字します (安定または不安定)。
CP	継続して重量を印字します。
SP	安定したら重量を印字します。
Z	ゼロキーを押すのと同じです。
T	風袋キーを押すのと同じです。
TA	風袋値の設定・照会。 - セットする:TA 風袋値単位 例:TA 5 kg - 照会:TA
U	現在の表示単位を設定・照会。 - セットする:U 単位 ID 例:U 1 各単位の ID は、次の表 10-6 で確認してください。 - 照会:U
M	現在のアプリケーションモードを設定・照会。 - セットする:M アプリケーション ID 例:M 0 各アプリケーションの ID は、次の表 10-6 を確認してください。 - 照会:M
PSN	端末のシリアル番号を印字します。
PV	名前、ソフトウェアリビジョン、および LFT ON (LFT セキュリティスイッチが ON の場合) を印字します。
H x "text"	ヘッダー文字列の内容を入力。x = 文字列番号 (1 ~ 5)、"text" = 最大 40 文字の英数字の文字列テキスト。
F x "text"	フッター文字列の内容を入力します。x = 文字列番号 (1 ~ 2)、"text" = 最大 40 文字の英数字の文字列テキスト。

備考:

- 各コマンドのイタリック体のコンテンツには、実際の値を入力する必要があります。
- 各コマンドにはスペースが必要です。コマンド入力時にはご注意ください。

表 11-5 単位 ID

単位 ID	単位名	略語
0	グラム	g
1	キログラム	kg

表 11-6 アプリケーション ID

アプリケーション ID	単位名
0	計量
4	可動的
6	累計
18	重量アラート

11.4 付録 D

OH-継続印字

- フォーマット 1: 重量アラートアプリケーションの間隔印字モードと継続印字モードを含む印字結果について

フィールド	重量 (右揃え)	スペース	単位 (右揃え)	スペース	安定 (?)
長さ	11	1	5	1	1
フィールド	スペース	T/N/G/PT (右揃え)	スペース	アプリケーションステータス (右揃え)	用語
長さ	1	2	1	6	2

備考: 申請ステータスは 6 文字または 11 文字固定です。印字されるステータスは、重量アラートの「Under」、「Accept」、「Over LMTx」です。アラートモードでは、オーバーステータスは 6+1 スペース+4 文字として出力されます。「Over LMT1」など。ステータスが未定義の場合、6 つのスペースが出力されます。

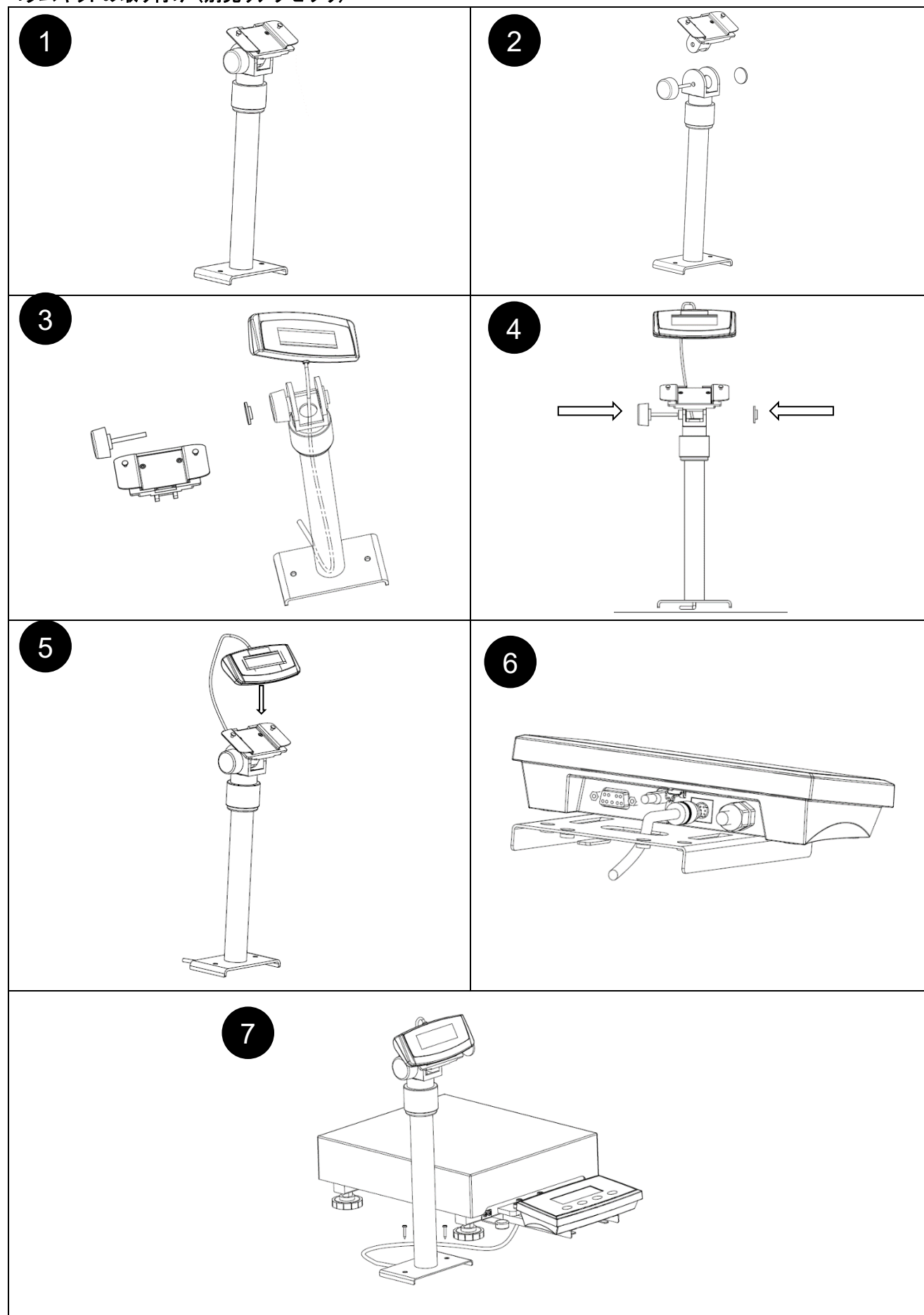
- フォーマット 2: 非重量アラートアプリケーションの印字結果の場合

フィールド	重量 (右揃え)	スペース	単位 (右揃え)	スペース	安定 (?)	スペース	T/N/G/PT (右揃え)	用語
長さ	11	1	5	1	1	1	2	2

備考: 重量アラートアプリケーションの場合でも、結果の印字 (インターバル/継続印字を含む) のみがフォーマット 1 に従い、他のすべての印字 (風袋、正味など) はフォーマット 2 に従います。

11.5 付録 E

コラムキットの取り付け（別売りアクセサリ）



12. 保証範囲

オーハウスコーポレーション製品は、受け渡し日から保証期間の間、部品ならびに製造上の欠陥と思われる不具合に対し保証しております。そのような不具合が発生した場合はオーハウスコーポレーションの販売店、代理店またはオーハウスコーポレーションのサービスセンターへご返却ください。内容を確認の上、オーハウスコーポレーションのサービスにて無償修理、部品交換、新品交換を速やかに行います。

当保証は、事故、取扱の不備、故意の腐食物質への抵触などの原因による製品の故障、または本体内部への異物の混入やオーハウスコーポレーションのサービス以外で行われた分解、修理による損害につきましては一切の適用はありません。製品ご購入後は保証登録内容に沿って必要事項をご登録ください。ご購入日より製品保証の期間が設定されます。明示的であれ暗示的であれ、オーハウスコーポレーションはこの保証以外の保証を一切いたしません。オーハウスコーポレーションは、本製品の故障に伴ういかなる損害においても責任を負いません。

保証の制定は地域や国によって異なるため、詳細についてはオーハウスコーポレーション、あるいはお近くのオーハウスコーポレーションの販売店にお問い合わせください。

12.1 保証登録 / 製品サポート登録

この度は弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。製品サポートにご登録いただくと、ご購入日より1年間の保証期間が適用されます。ご登録がない場合は製造日から1年間の保証期間となりますのでご注意ください。

製品サポートは、弊社ウェブサイトにてご登録いただけます。

製品サポート登録方法

WEB: Ohaus.com/warranty

右のQRコードにアクセスして頂くと

弊社ウェブサイトの保証書登録ページにアクセス可能です。



日本語 (変更)

 [製品](#) [サポート](#) [ニュース](#) [お問い合わせ/保証書登録はこちら](#)

[お問い合わせ](#) | [技術的なお問い合わせ](#) | [保証書登録](#)

お問い合わせ/保証書登録



お問い合わせ



技術的なお問い合わせ



保証書登録

日本語 (変更)

 [製品](#) [サポート](#) [ニュース](#) [お問い合わせ/保証書登録はこちら](#)

[お問い合わせ](#) | [技術的なお問い合わせ](#) | [保証書登録](#)

保証書登録

氏:

名:

会社名:

部署名:

郵便番号:

都道府県:

市町村:

住所(町名・番地・ビル名):

保証登録・製品登録に関しましてご不明な点がございましたら、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

オーハウス コーポレーション (メトラー・トレド(株)内)

お問い合わせ先 www.ohaus.com (TEL: 03 - 5815 - 5515、ガイダンス後 4)

* シリアル番号のない製品については、シリアル番号以外の項目のご記入をお願いいたします。

12.2 保証登録について

この保証登録は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証登録によって、お客様の法律上の権利を制限するものではございませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

- 保証登録をして頂きましたお客様には、お買い上げの製品が保証期間中に万一故障してしまった場合、下記記載内容にて無償で修理いたします。（保証登録をされていない場合、保証期間は製造日から1年間とさせていただきます。）
- 保証期間中においても修理の代わりに、新品との交換対応を行う製品がございます。詳細は販売店もしくは弊社までお問い合わせください。
- 故障などのお問い合わせは、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。
- ご登録くださいましたお客様には、ほかにも製品サポートといたしまして、製品に関する重要なお知らせやテクニカルサポート、弊社がご提供するサービスのご案内をいたします。（個人情報のお取り扱いにつきましては下記をご覧ください。）

【無償修理規定】

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無償修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合は有償修理となります。
 - A) 保証登録のない場合。
 - B) 使用上の誤りまたは不当な改造による故障・破損。
 - C) お買い上げ後の落下や輸送上の故障・破損。
 - D) 火災・天変地変（地震・風水害・落雷など）・公害や異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障・破損。
 - E) 保証登録にご購入日、機種名、シリアル番号などの重要事項のご記入がない場合、および字句を書き替えられた場合。
 - F) 保証期間内の無償修理は、日本国内でのみ実施いたします。

* 個人情報の取り扱いについて

お客様の情報は新製品のご案内など各種情報をお届けする際に利用させて頂くことがございます。お客様の情報は弊社と事前に秘密保持契約を締結した業務委託先に必要な範囲で開示することがあります。この情報に関し、訂正、削除などをご依頼いただく際、ご本人様からのご依頼があった場合は迅速に対応させていただきます。弊社ご担当者までご連絡ください。

E-mail : japansales@ohaus.com



オーハウスコーポレーション
お問い合わせはカスタマーサポートセンターへ
TEL:03-5815-5515
FAX:03-5815-5525
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-9-7
池之端日殖ビル 6 F(メトラ・トレード株式会社 内)
www.ohaus.com



P/N 30809934 D © 2023 Ohaus Corporation, all rights reserved / todos los derechos reservados /
tous droits réservés / alle Rechte vorbehalten / tutti i diritti riservati